

令和4年度保護者アンケートおよび児童・生徒アンケートの結果について（概要）

令和4年度
文教委員会
報告書

【目的】
品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】
（保護者アンケート）
区立学校に通う全児童・生徒の保護者

（児童・生徒アンケート）
区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査内容】
（保護者アンケート）

- 【A】 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について
- 【B】 品川区の教育施策について
- 【C】 学校と地域との連携・協働について
- 【D】 ICT教育について
- 【E】 学校選択制について（1・7年生のみ）
太字は概要で示している内容

（児童・生徒アンケート）

- 【A】 学校や家での様子について
- 【B】 英語の学習について
- 【C】 学校と地域との連携・協働について
- 【D】 コンピュータやタブレットなどの活用について
- 【E】 学校選択制について（7年生のみ）
太字は概要で示している内容

※令和元年度の調査から、毎年調査するものと3年に一度調査するものを分けるなど調査項目を精査したうえで実施

【調査期間】
令和5年1月20日（金）から1月31日（火）まで

【調査方法】
質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】
（保護者アンケート）
配布数 22,609
回答数 20,308（内有効数 20,236）
回答率 89.5%

（児童・生徒アンケート）
配布数 19,430
回答数 18,167（内有効数 18,020）
回答率 92.7%

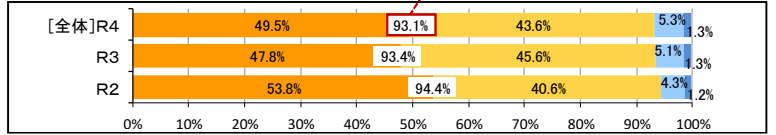
グラフの凡例： ■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答

※『肯定的な回答』は「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」の合計。

保護者アンケート

B 品川区の教育施策について

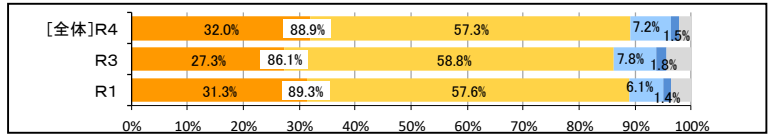
【7】 現在通っている学校に満足している。 保護者による学校満足度 93.1%



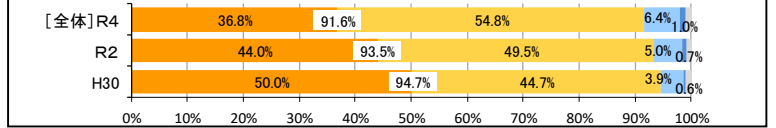
保護者による学校満足度については、全体では9割以上が『肯定的な回答』をしており、令和2年度以降3年間、いずれも高い水準を維持している。

C 学校と地域との連携・協働について

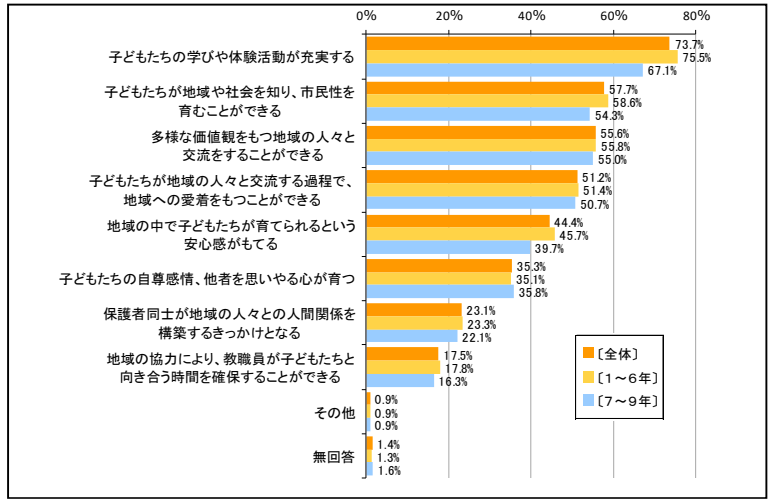
【8】 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



【9】 お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



【11】 学校が地域と連携することによる効果として期待するものは何ですか。

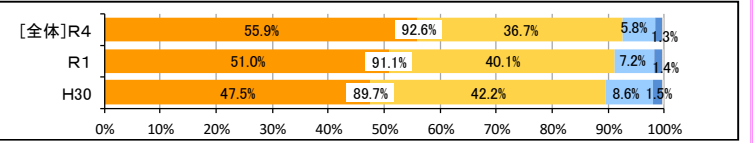


学校が地域と連携することによる効果として期待するものは、全体では「子どもたちの学びや体験活動が充実する」が73.7%と最も高く、次いで「子どもたちが地域や社会を知り、市民性を育むことができる」、「多様な価値観をもつ地域の人々と交流することができる」と続く。

児童・生徒アンケート

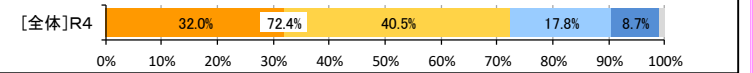
A 学校や家での様子について

【3】 (2年) 友達と仲良くなることができる。
(3～4年) 友達の個性を認めて、仲良くなることができる。
(5～9年) 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる。

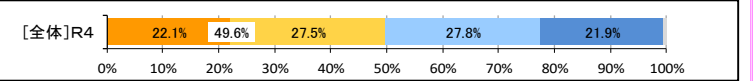


C 学校と地域との連携・協働について

【8】 授業や学校の行事に地域の人たちが参加している。

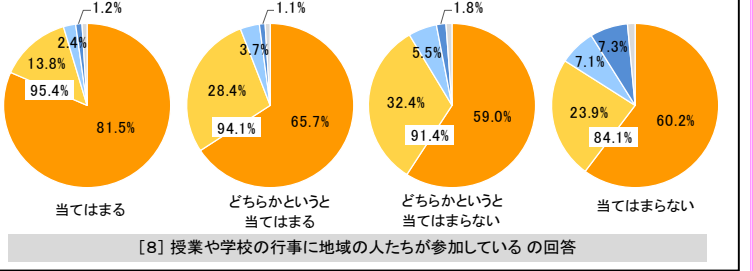


【9】 (2年) 地域のお祭りや、行事、イベントに参加している。
(3～9年) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。



【8】 授業や学校の行事に地域の人たちが参加していると【11】今住んでいる地域が好きだの関連

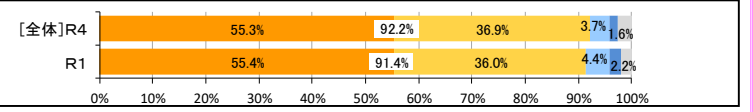
【11】の回答 ■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる ■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない ■ 無回答



【8】の「授業や学校の行事に地域の人たちが参加している」の回答の内、【11】の「今住んでいる地域が好きだ」の回答状況を見ると、「授業や学校の行事に地域の人たちが参加している」と感じている人ほど、地域への好意度が高い傾向がみられた。

E 学校選択制について

【16】 学校選択制は良い制度だと思う。(7年生のみ)



学校選択制については、令和元年度も今回も全体の9割以上が『肯定的な回答』をしている。

令和4年度保護者アンケートの結果

令和4年度保護者アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う全児童・生徒の保護者

【調査期間】

令和5年1月20日（金）から令和5年1月31日（火）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

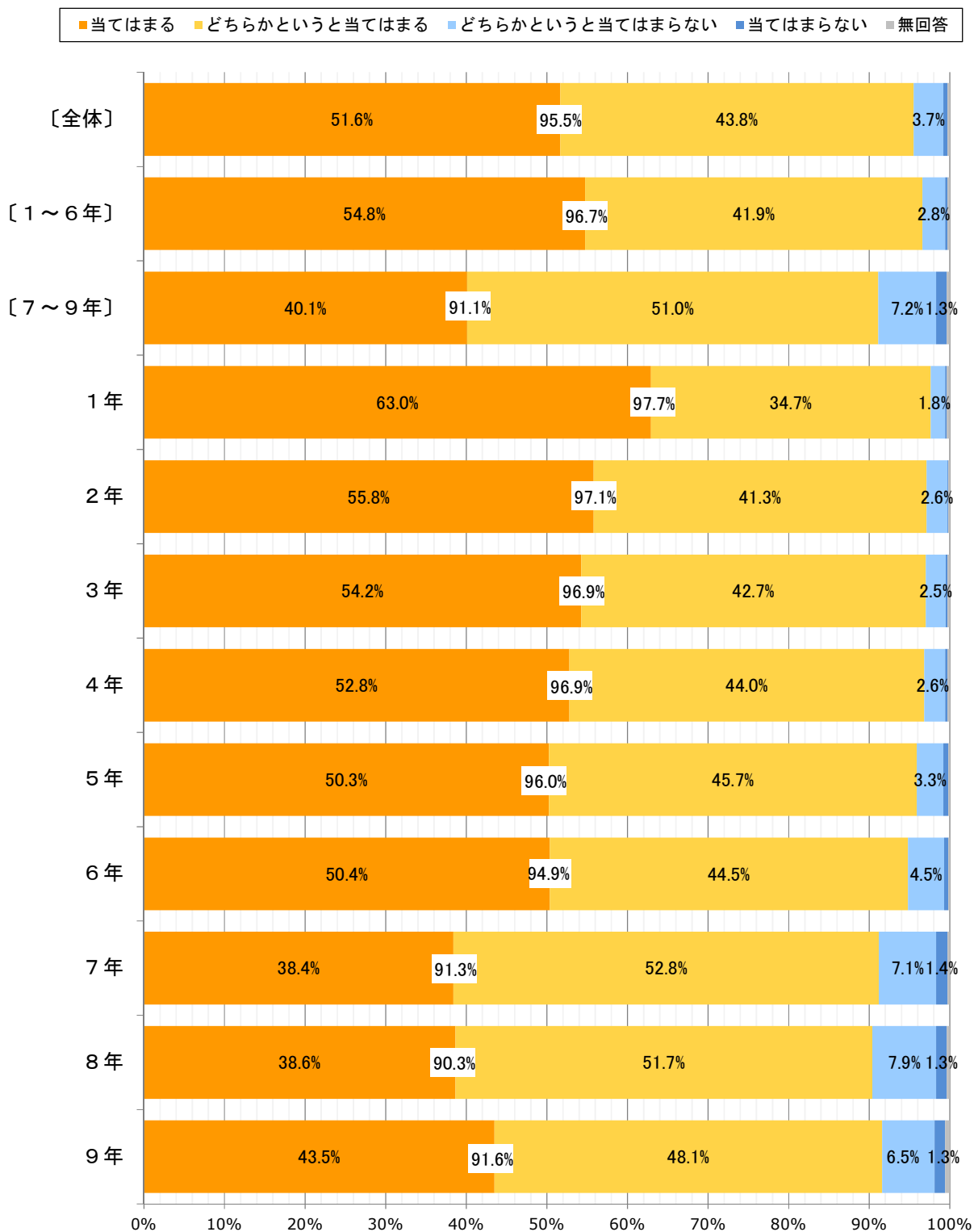
配布数 22,609 回答数 20,308（内、有効回答数 20,236） 回答率 89.5%

注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

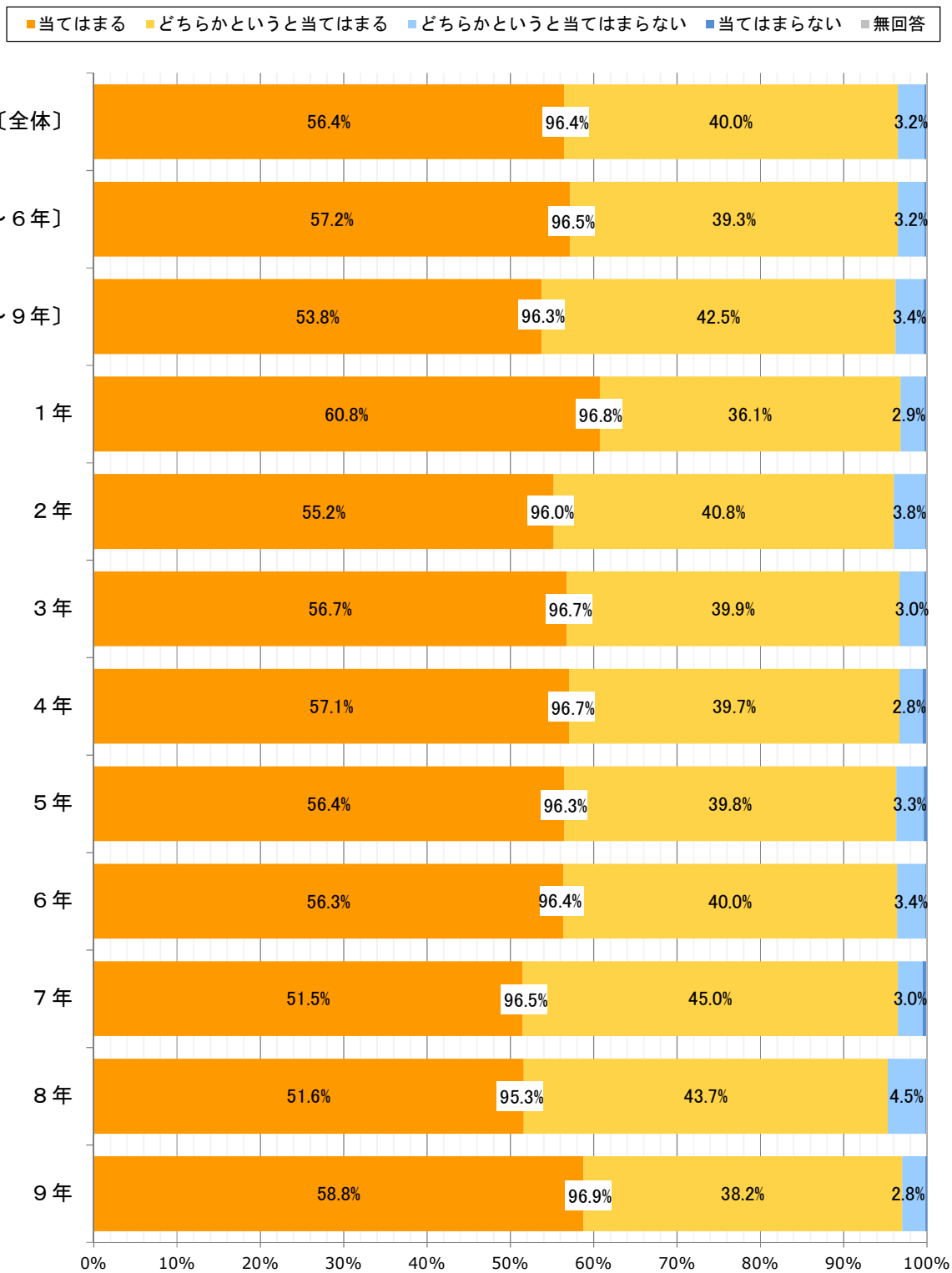
[1] 基本的な生活習慣が身に付くようにしている。



「基本的な生活習慣が身に付くようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で95%を超える。1～6年は96.7%、7～9年は91.1%である。

「当てはまる」は1～6年の54.8%に比べ、7～9年は40.1%と低い。

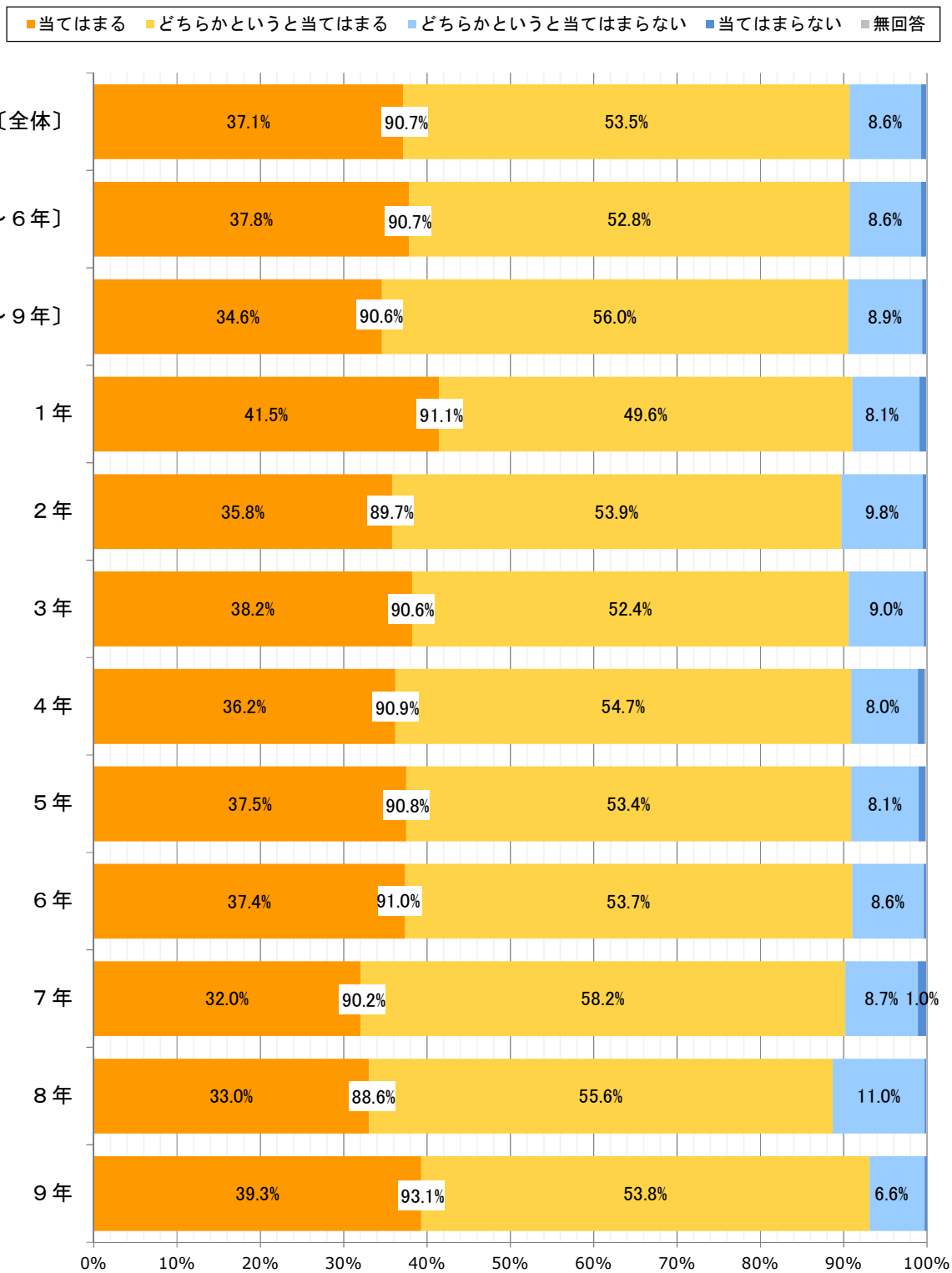
[2] 挨拶がしっかりできているようにしている。



「挨拶がしっかりできているようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で95%を超える。1～6年は96.5%、7～9年は96.3%である。

「当てはまる」の割合は全学年で50%を超えており、1年では60.8%と最も高い。

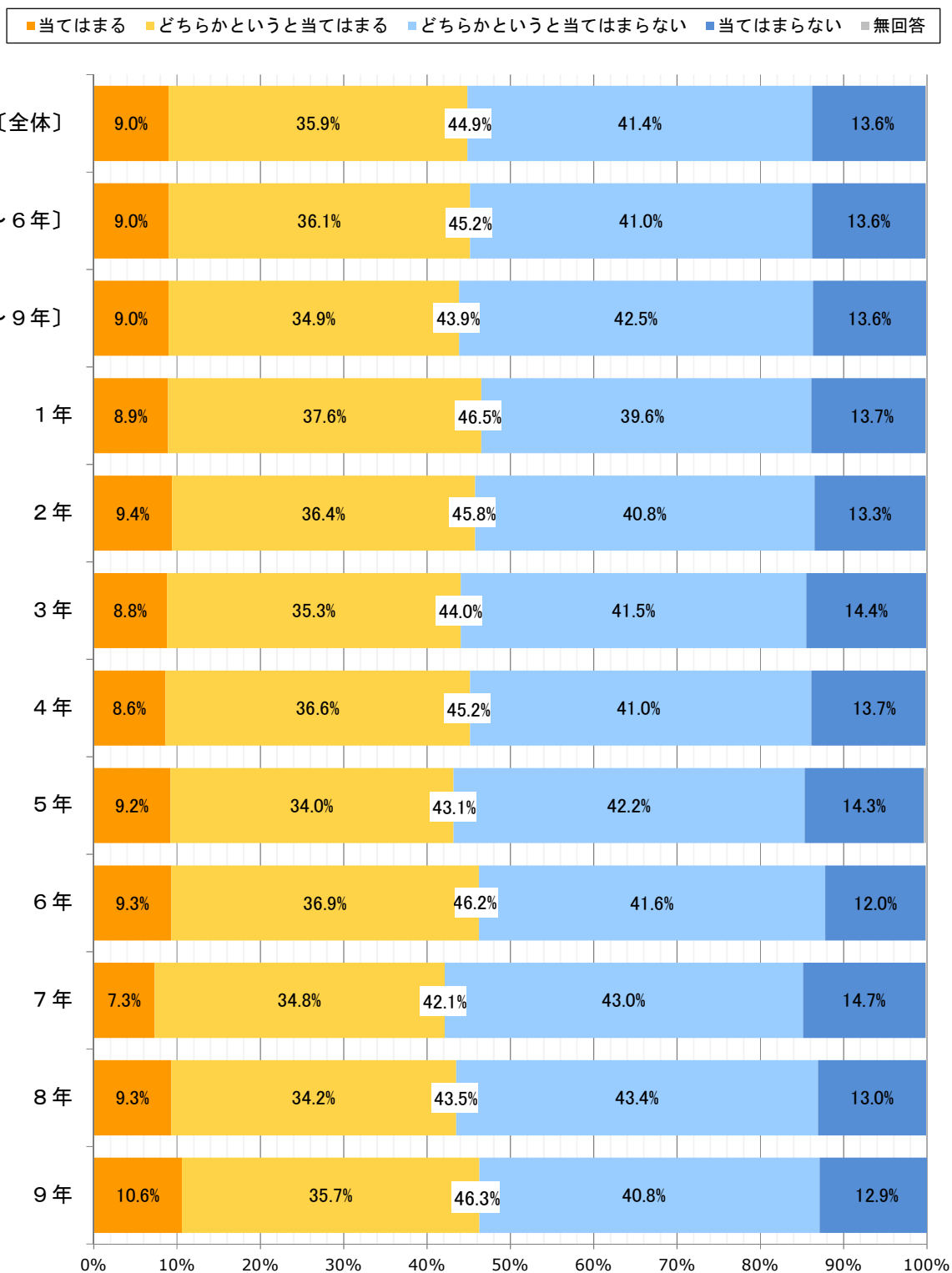
[3] 丁寧な言葉づかいができるようにしている。



「丁寧な言葉づかいができるようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で約90%を占める。1～6年は90.7%、7～9年は90.6%である。

「当てはまる」の割合は全学年とも30～40%台である。

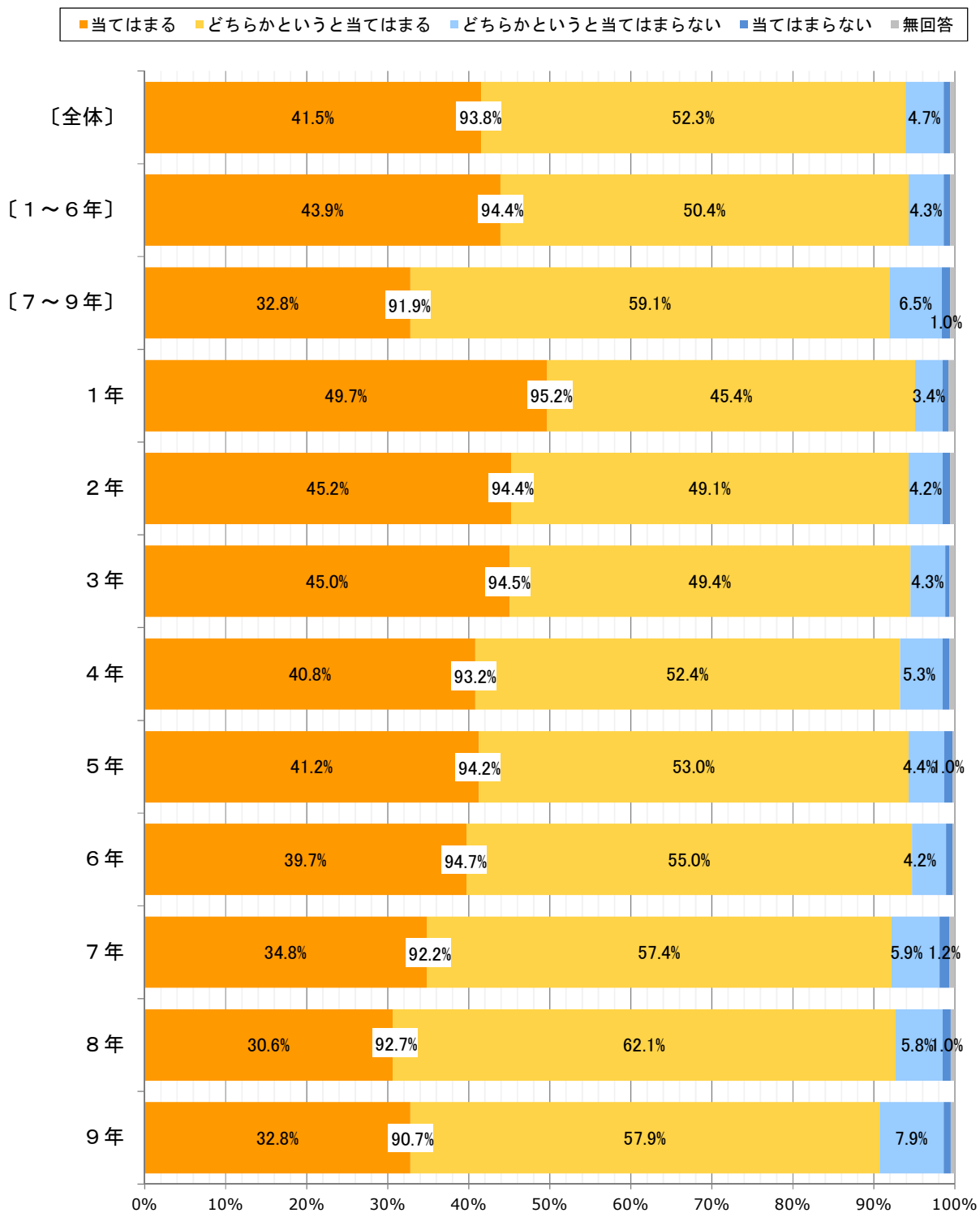
[4] 地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている。



「地域行事やボランティア活動に参加させるようにしている」に『肯定的な回答』は、全体で約45%であり、1～6年では45.2%、7～9年では43.9%である。
回答傾向に学年による大きな差はみられない。

[B. 品川区の教育施策について]

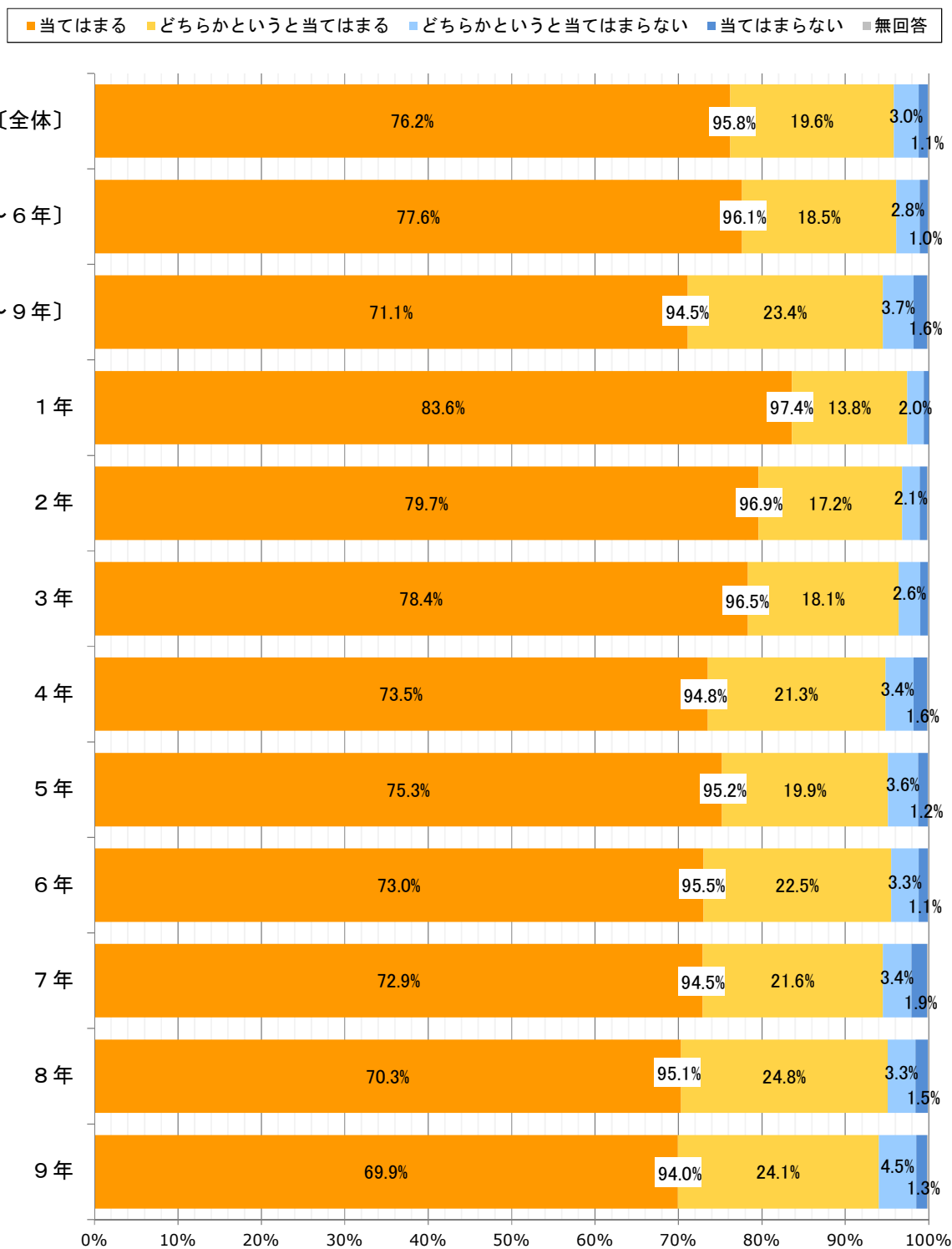
[5] 独自教科である市民科は、良い学習だと思う。



「独自教科である市民科は、良い学習だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で90%を超える。1～6年は94.4%、7～9年は91.9%である。

「当てはまる」の割合は1～6年の43.9%に比べ、7～9年は32.8%と低い。

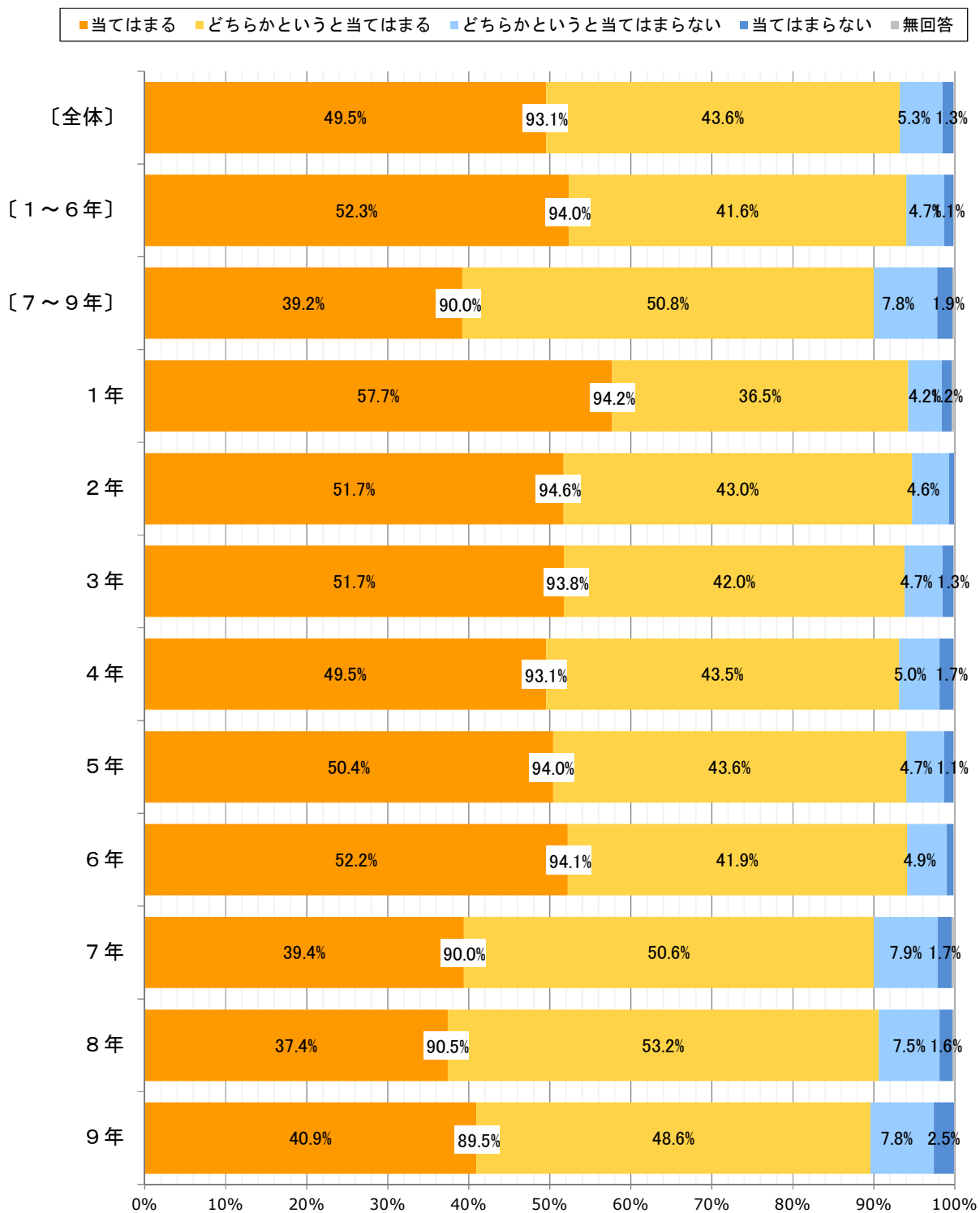
[6] 1年生からの英語学習は良いことだと思う。



[1年生からの英語学習は良いことだと思う]に『肯定的な回答』は、全体で95%を超える。1～6年は96.1%、7～9年は94.5%である。

「当てはまる」の割合は1年で83.6%と最も高く、9年で69.9%と最も低い。

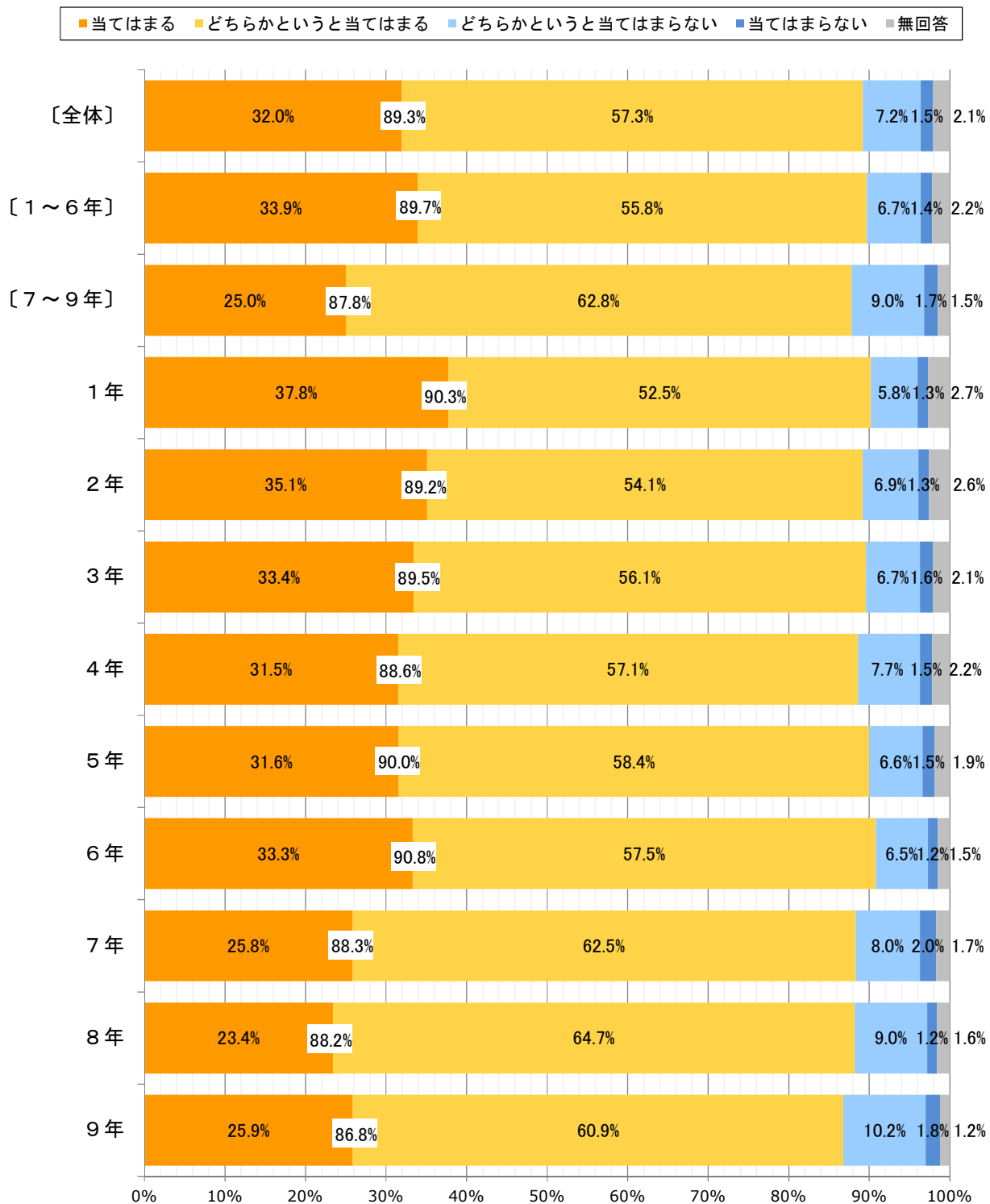
[7] 現在通っている学校に満足している。



[現在通っている学校に満足している]に『肯定的な回答』は、全体で90%を超える。1～6年は94.0%、7～9年は90.0%である。
 「当てはまる」の割合は1～6年の52.3%に比べ、7～9年は39.2%と低い。

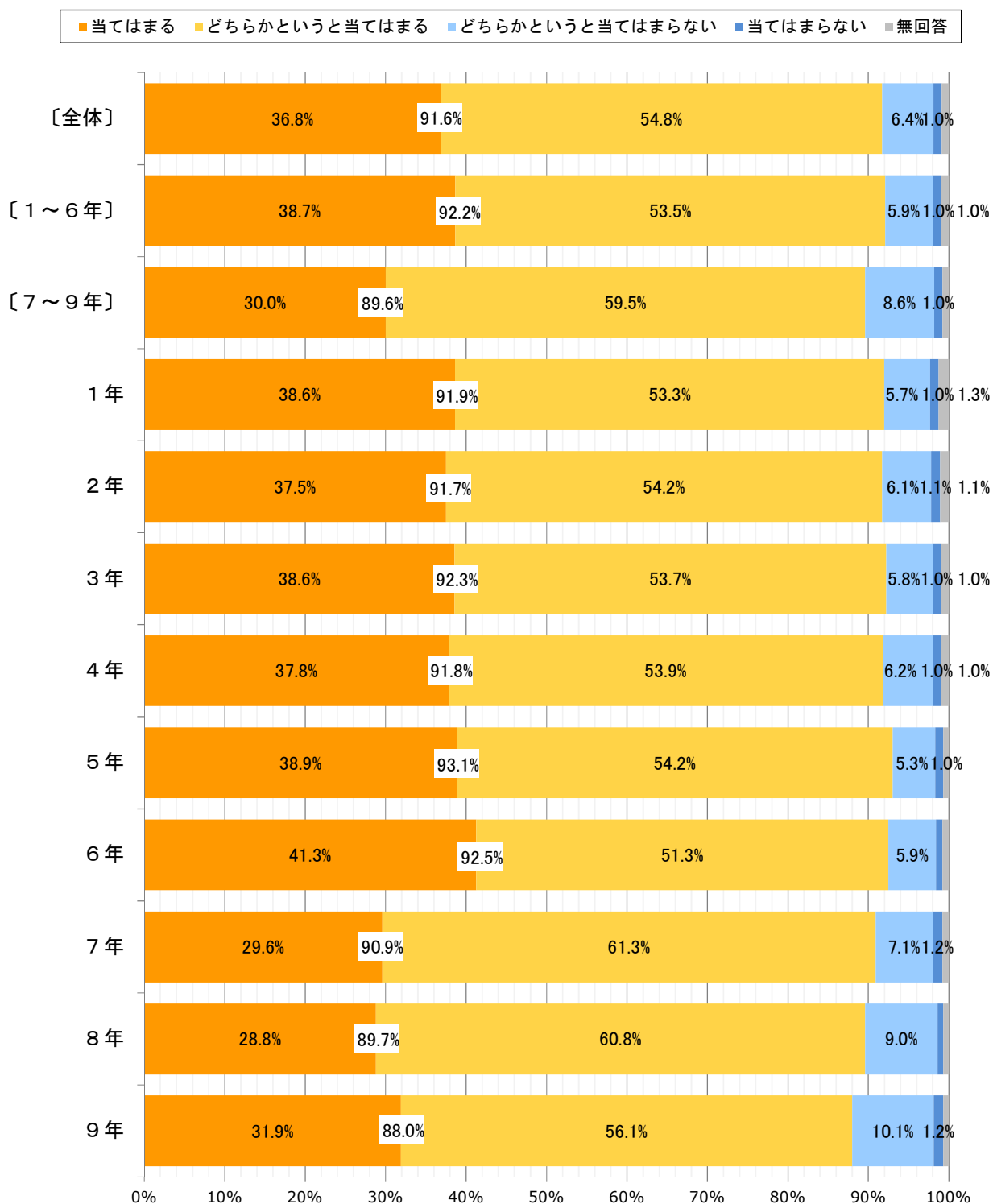
[C. 学校と地域との連携・協働について]

[8] 品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う。



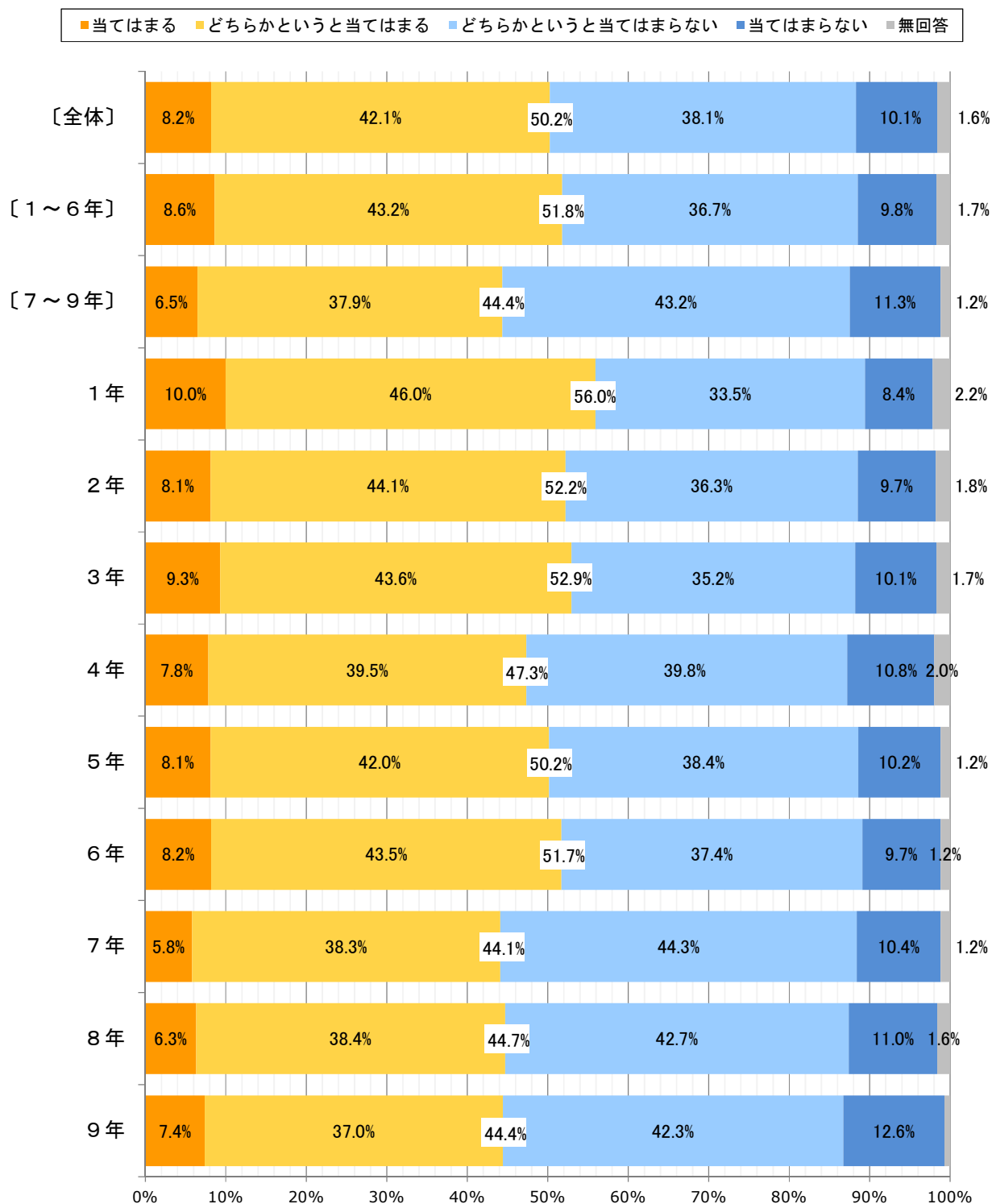
「品川コミュニティ・スクールは良い取組だと思う」に『肯定的な回答』は、全体で約90%を占める。
 1～6年は89.7%、7～9年は87.8%である。
 「当てはまる」の割合は1～6年の33.9%に比べ、7～9年は25.0%と低い。

[9] お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



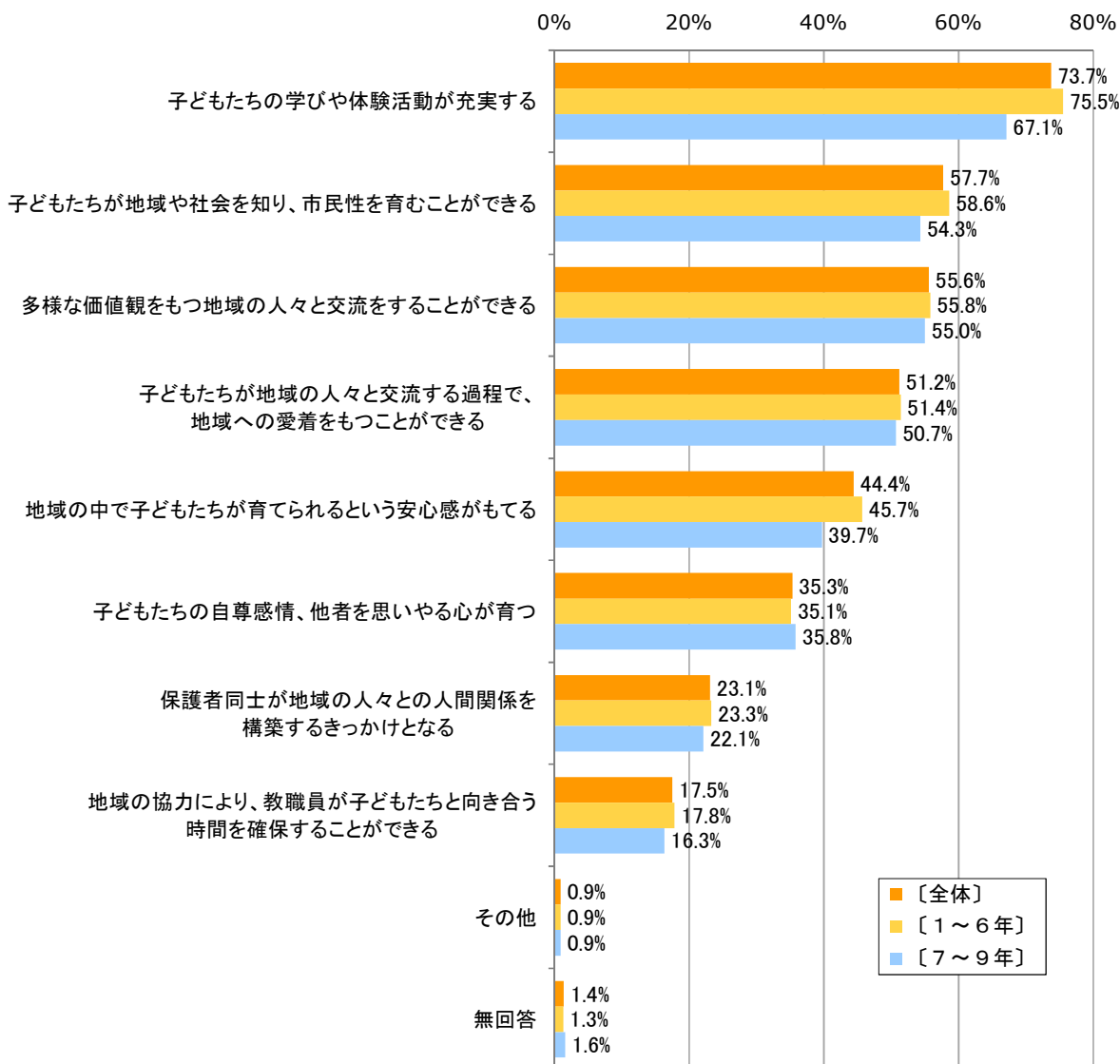
「お子さんの通っている学校は、地域と連携している」に『肯定的な回答』は、全体で約90%であり、1～6年では92.2%、7～9年では89.6%である。
 「当てはまる」の割合は1～6年の38.7%に比べ、7～9年は30.0%と低い。

[10] お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う。



「お子さんが卒業しても、品川コミュニティ・スクールなどの教育活動に協力しようと思う」に『肯定的な回答』は、全体で約50%であり、1～6年では51.8%、7～9年では44.4%である。
「当てはまる」の割合は全学年で10%以下である。

[11] 学校が地域と連携することによる効果として期待するものは何ですか。



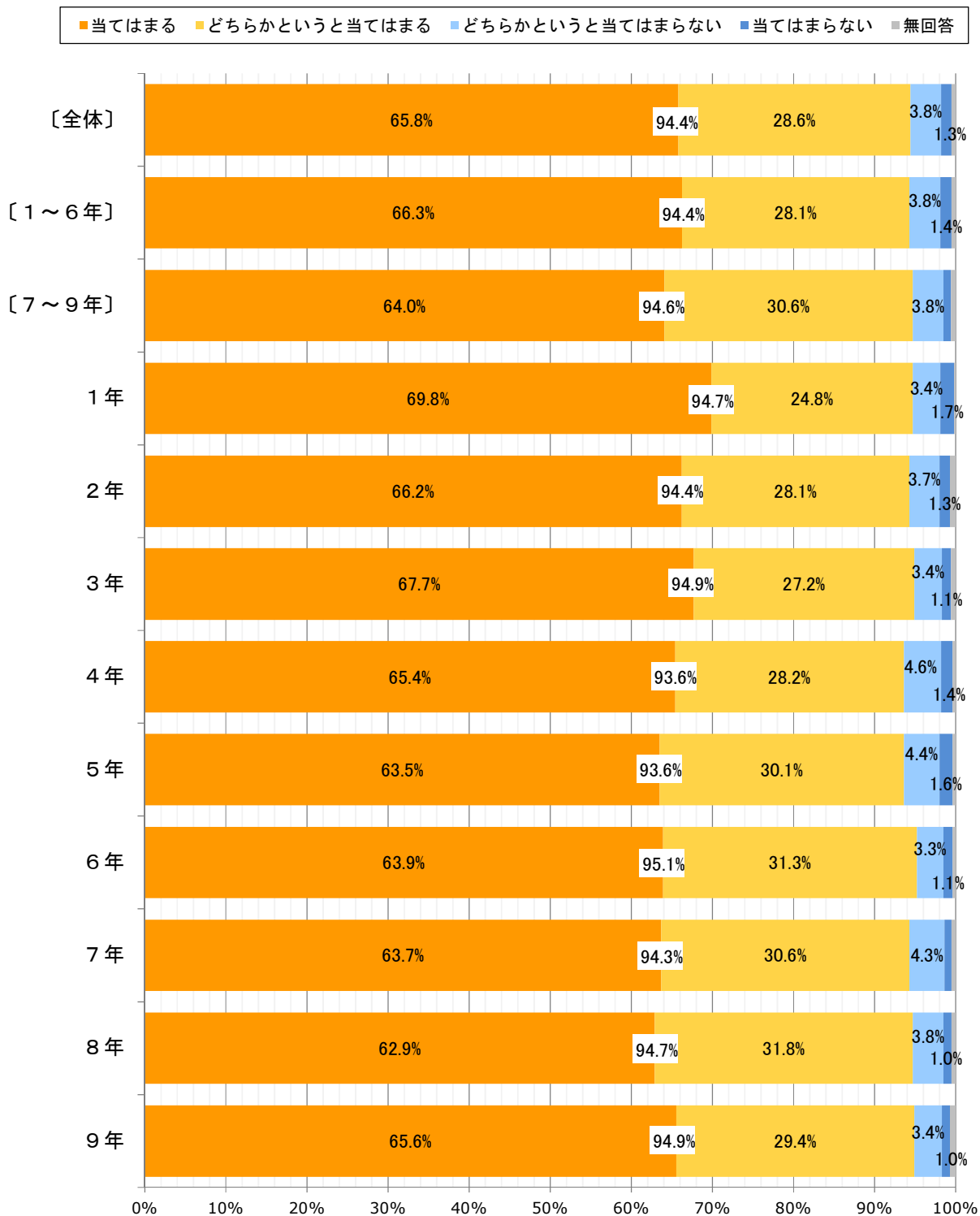
学校が地域と連携することによる効果として期待するものは、全体では「子どもたちの学びや体験活動が充実する」が73.7%と最も高く、次いで「子どもたちが地域や社会を知り、市民性を育むことができる」57.7%、「多様な価値観をもつ地域の人々と交流をすることができる」55.6%と続く。

「子どもたちの学びや体験活動が充実する」は1～6年が75.5%、7～9年が67.1%と、8.4ポイントの差がみられた。また、「地域の中で子どもたちが育てられるという安心感がもてる」は1～6年が45.7%、7～9年が39.7%と、6.0ポイントの差がみられた。

「その他」の内容としては、「子どもの安全・防犯」が最も多く、次いで「活動を知らない」、「特になし」などがみられた。

[D. ICT教育について]

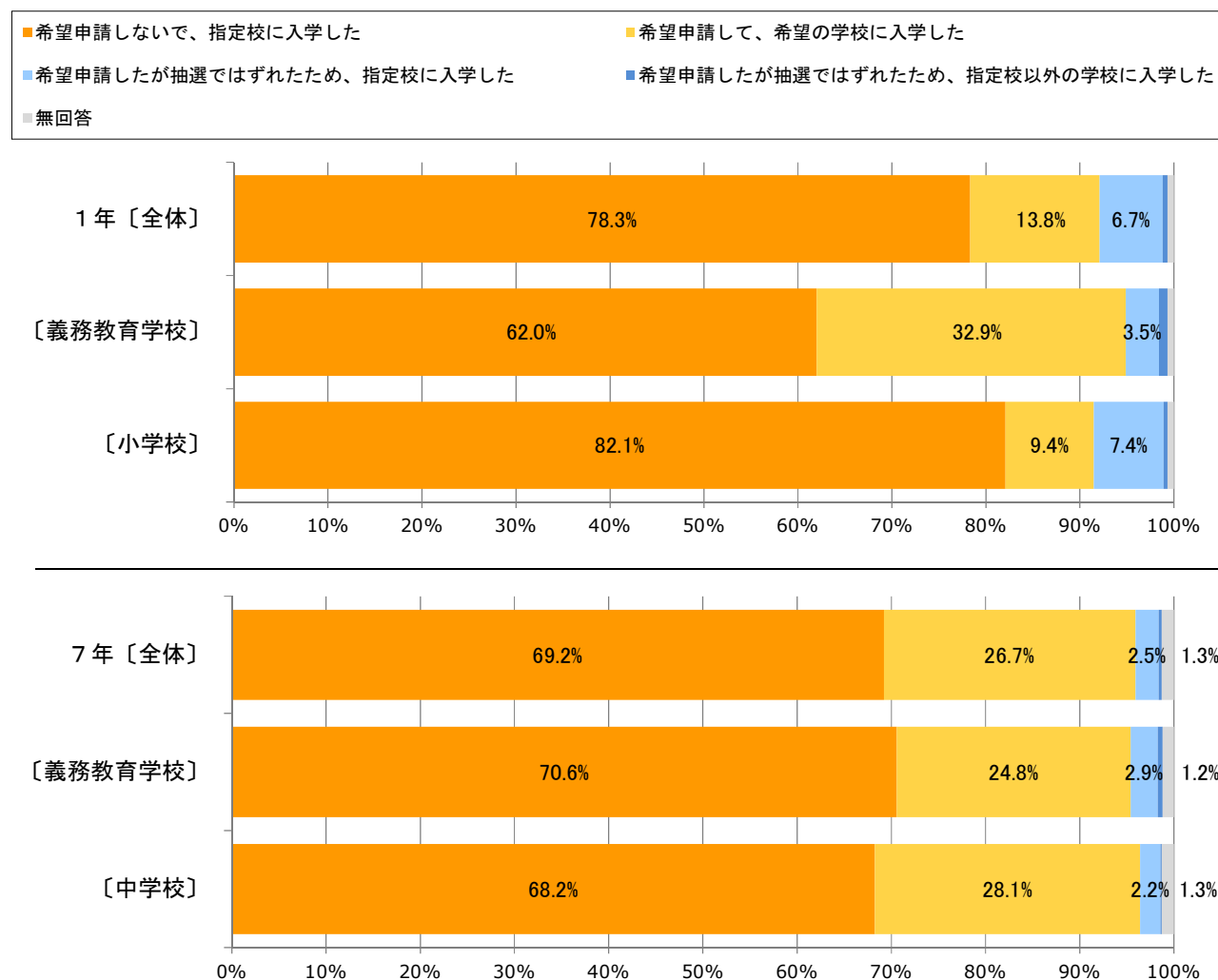
[12] お子様がコンピュータやタブレットなどのICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に
適応するための能力を身に付けることは重要だと思う。



〔ICT機器を日常的なツールとして活用し、情報化社会に適応するための能力を身に付けることは重要だと思う〕に『肯定的な回答』は、全体で約95%を占める。「当てはまる」は全学年で60%を超えており、回答傾向に学年による大きな差はみられない。

[E. 学校選択制について]

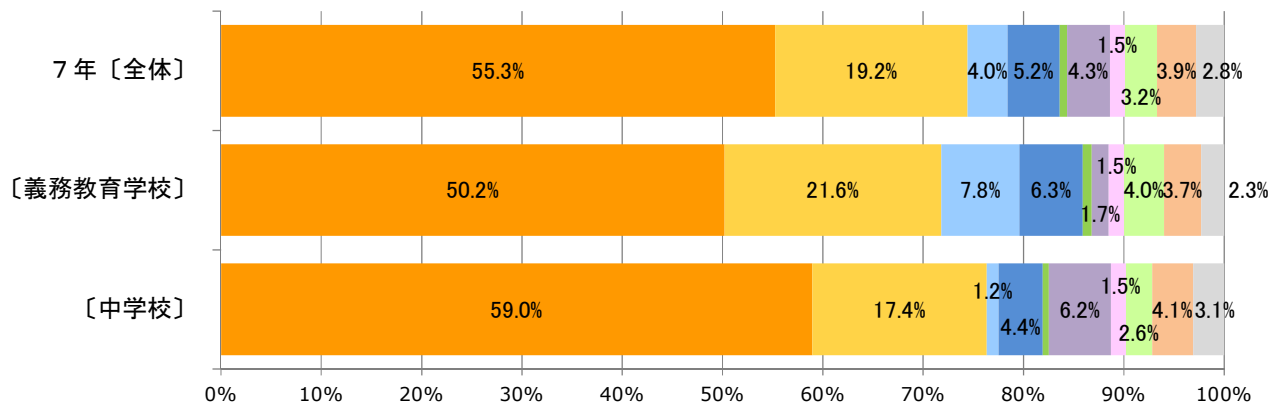
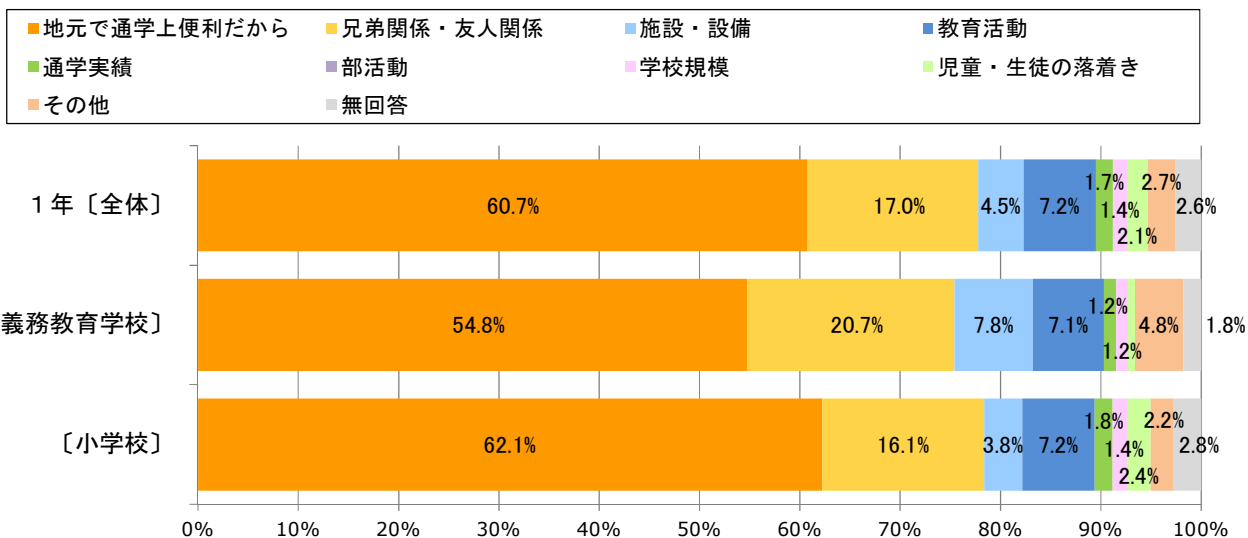
[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。



学校を選択する際の希望申請の状況やその結果については、1年は7年より、「希望申請しないで、指定校に入学した」で9.1ポイント高く、「希望申請して、希望の学校に入学した」で12.9ポイント低い。

7年では〔義務教育学校〕と〔中学校〕に大きな差はないが、1年では〔小学校〕が〔義務教育学校〕より「希望申請しないで、指定校に入学した」で20.1ポイント高い。

[14] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。

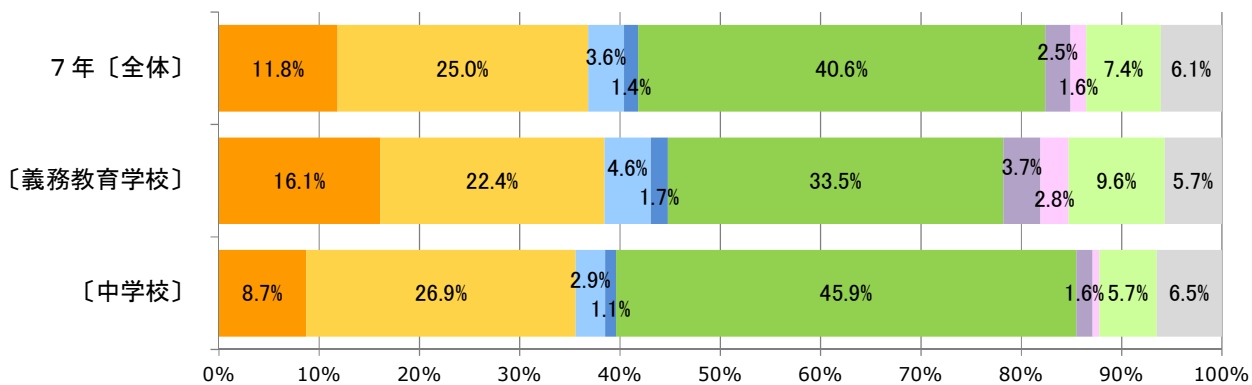
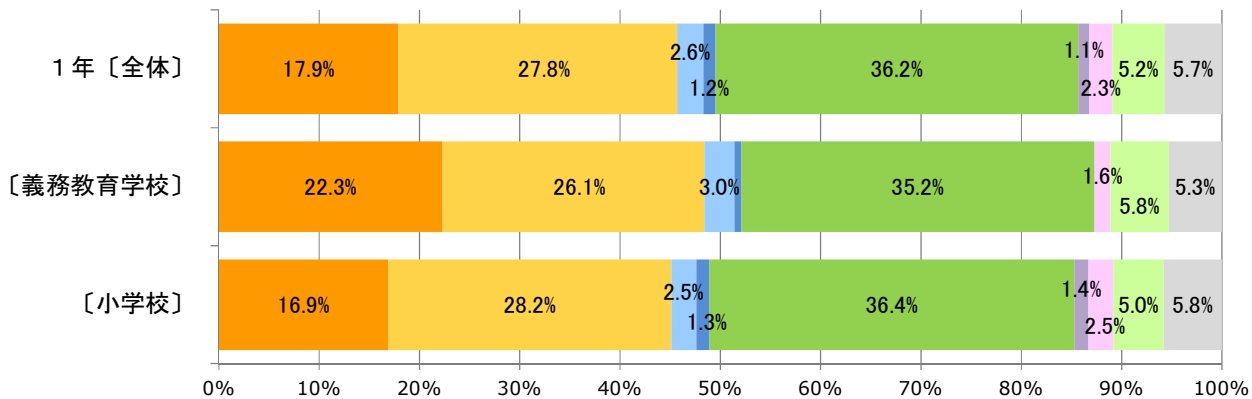
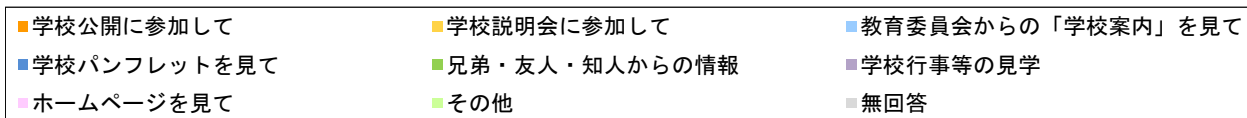


学校を選択する際に最も重視したことは、1年は7年より「地元で通学上便利だから」が5.4ポイント高い。

「地元で通学上便利だから」は1年、7年ともに〔小学校・中学校〕が〔義務教育学校〕より7～8ポイント高い。また、「施設・設備」は1年、7年ともに、〔義務教育学校〕が〔小学校・中学校〕より高く、7年では6.6ポイント高くなっている。

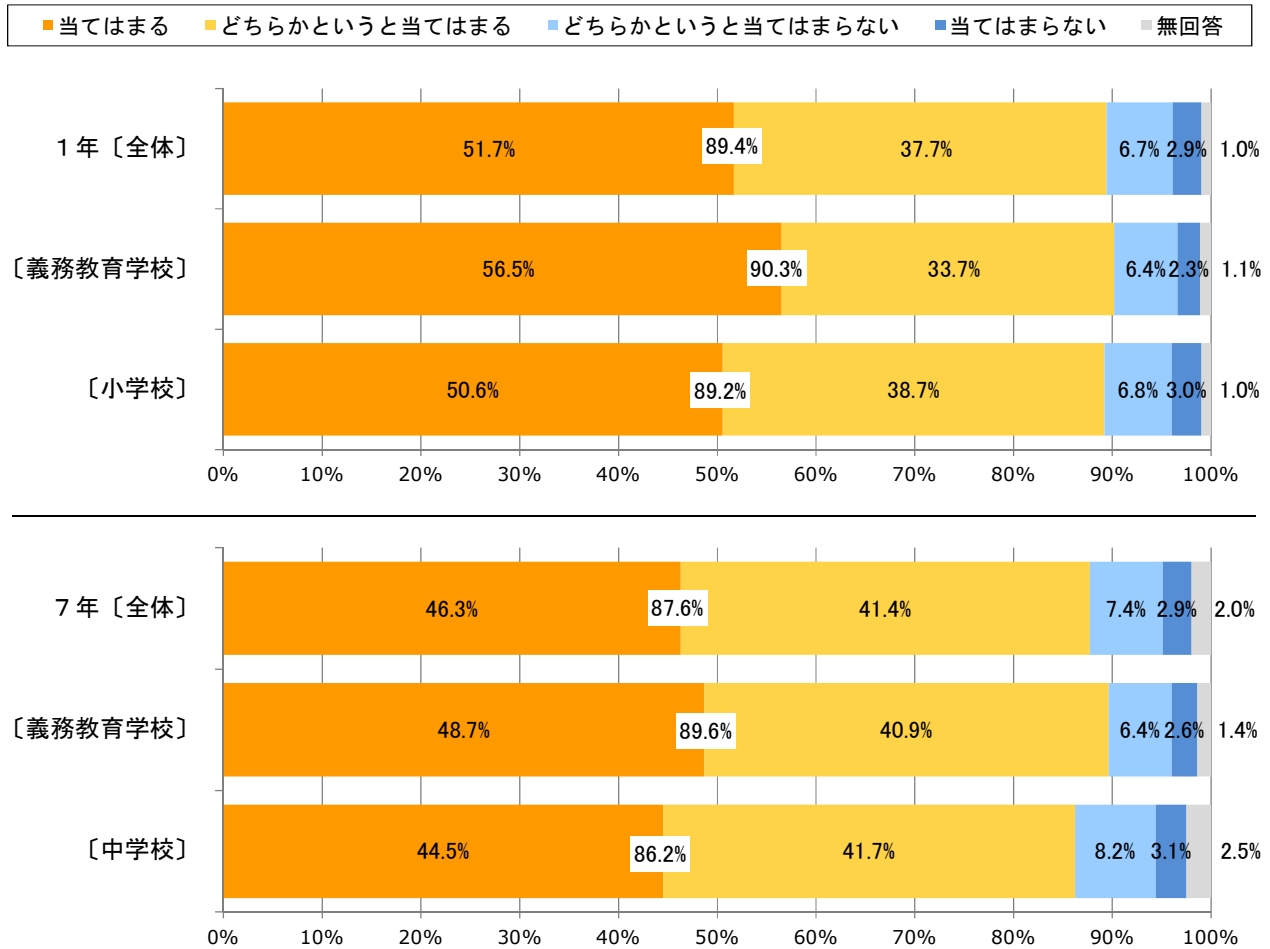
「その他」の内容としては、「子どもの希望」が最も多く、次いで「学校・先生の雰囲気・校風」、「特別支援学級・情緒学級がある」などがみられた。

[15] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。



学校を選択する際、最も重視した情報は、1年、7年ともに「兄弟・友人・知人からの情報」が最も高く、1年は7年より「学校公開に参加して」が6.1ポイント高い。
 また、1年では〔義務教育学校〕は〔小学校〕より「学校公開に参加して」が5.4ポイント高く、7年では〔中学校〕は〔義務教育学校〕より「兄弟・友人・知人からの情報」が12.4ポイント高い。
 「その他」の内容としては、「家からの近さ・通学の安全性」が最も多く、次いで「特になし」、「選択していない」などがみられた。

[16] 学校選択制は良い制度だと思う。



〔学校選択制は良い制度だと思う〕に『肯定的な回答』は、1年、7年ともに90%弱を占め、「当てはまる」の割合は1年で51.7%、7年で46.3%と約半数を占める。
 また、1年、7年ともに『肯定的な回答』は、〔義務教育学校〕のほうが〔小学校・中学校〕よりやや高い。

令和4年度児童・生徒アンケートの結果

令和4年度児童・生徒アンケートの概要

【目的】

品川区における教育施策の成果を検証し、より一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立学校に通う2年生以上の全児童・生徒

【調査期間】

令和5年1月20日（金）から令和5年1月31日（火）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

配布数 19,430 回答数 18,167（内、有効回答数 18,020） 回答率 92.7%

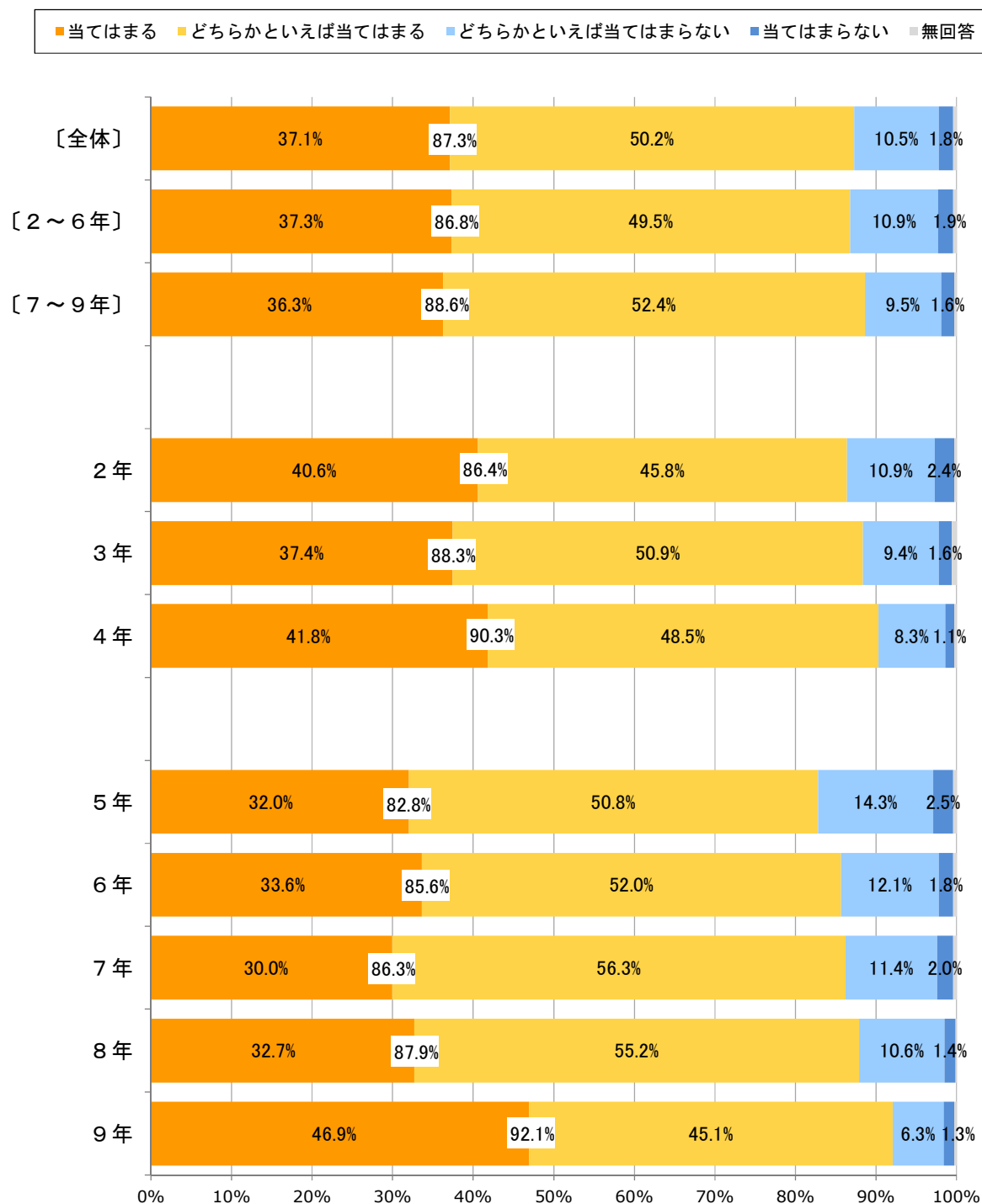
注 記

1. 数値の表記のない項目は、1%未満である。
2. 回答比率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しているため、各回答における百分率の合計が100%にならない場合がある。
3. コメント欄内の『肯定的な回答』は、「当てはまる」と「どちらかという当てはまる」の合計である。

[A. 学校や家での様子について]

[1] (2~4年) 自分のことは自分で行うようにしている。

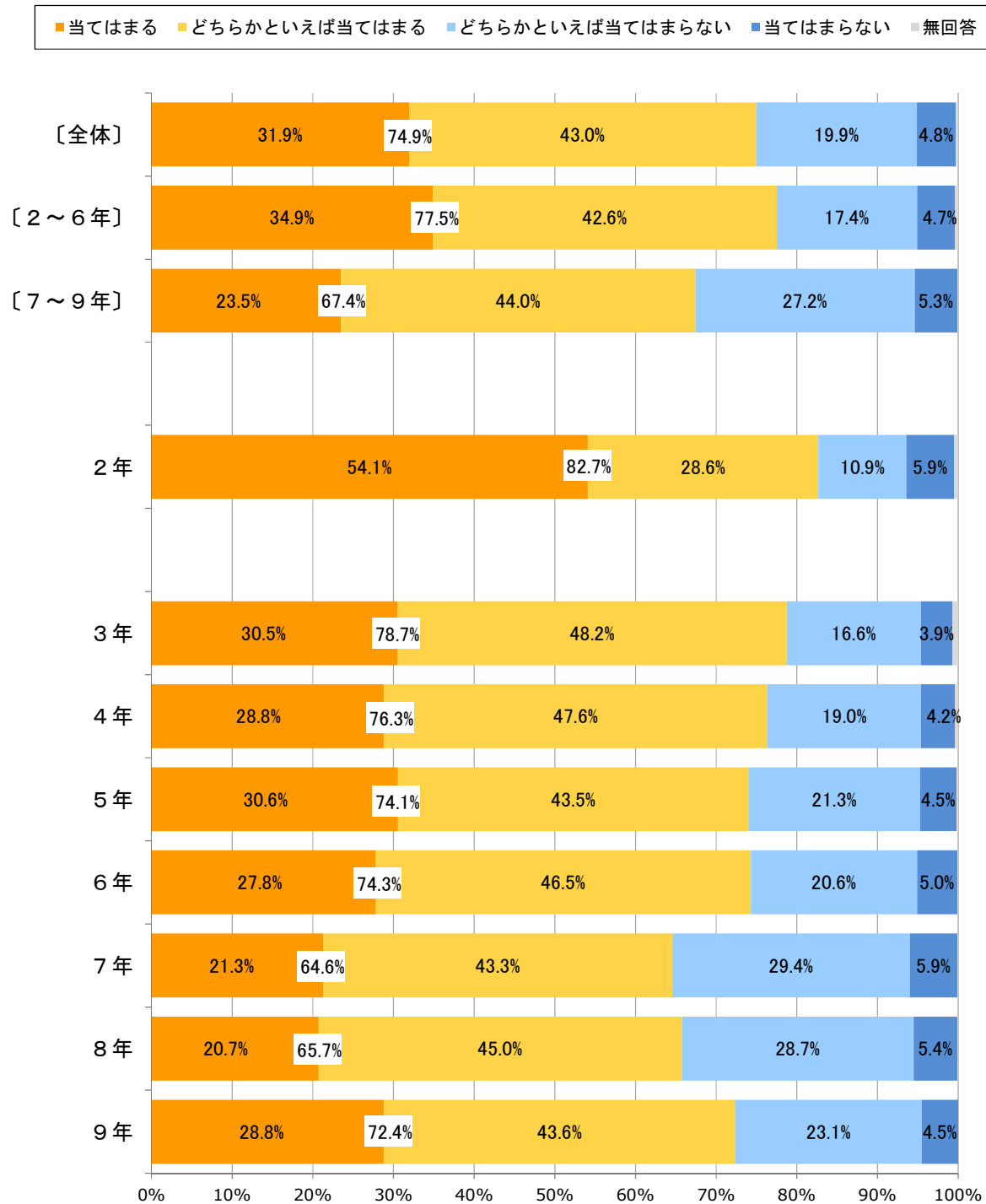
(5~9年) 自分で判断し、責任をもって行動しようとしている。



2~4年では「自分のことは自分で行うようにしている」に『肯定的な回答』は80%台後半~90%を占める。また、5~9年の「自分で判断し、責任をもって行動しようとしている」に『肯定的な回答』は、5~8年では80%台であるが、9年は90%を超えた。

[2] (2年) 前の日のうちに、次の日の用意をしている。

(3～9年) 自分の予定を考えながら計画的に生活することができる。

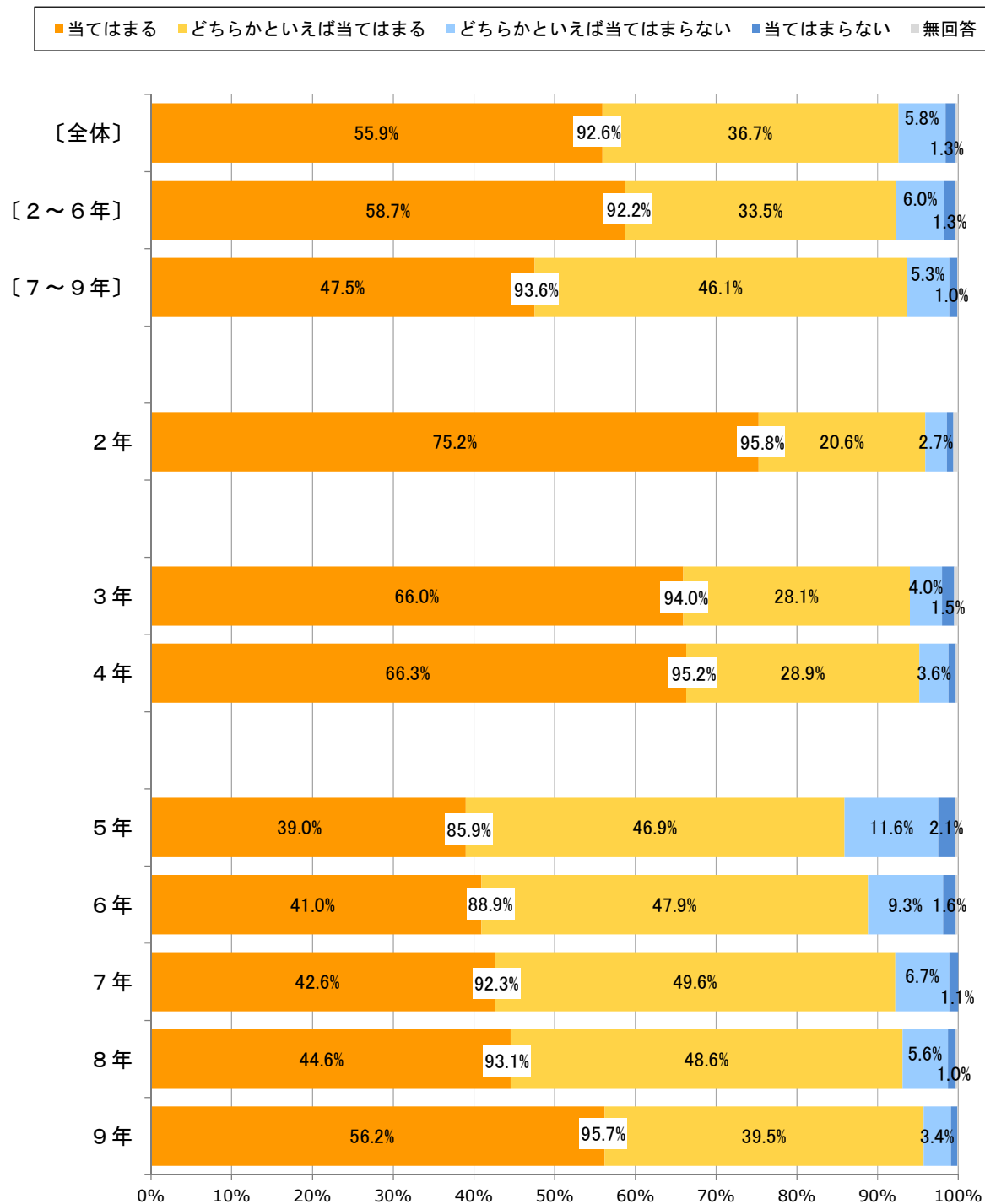


2年では「前の日のうちに、次の日の用意をしている」に『肯定的な回答』は82.7%を占める。一方で、3～9年では「自分の予定を考えながら計画的に生活することができる」に『肯定的な回答』は60%台～70%台である。

[3] (2年) 友達と仲良くすることができる。

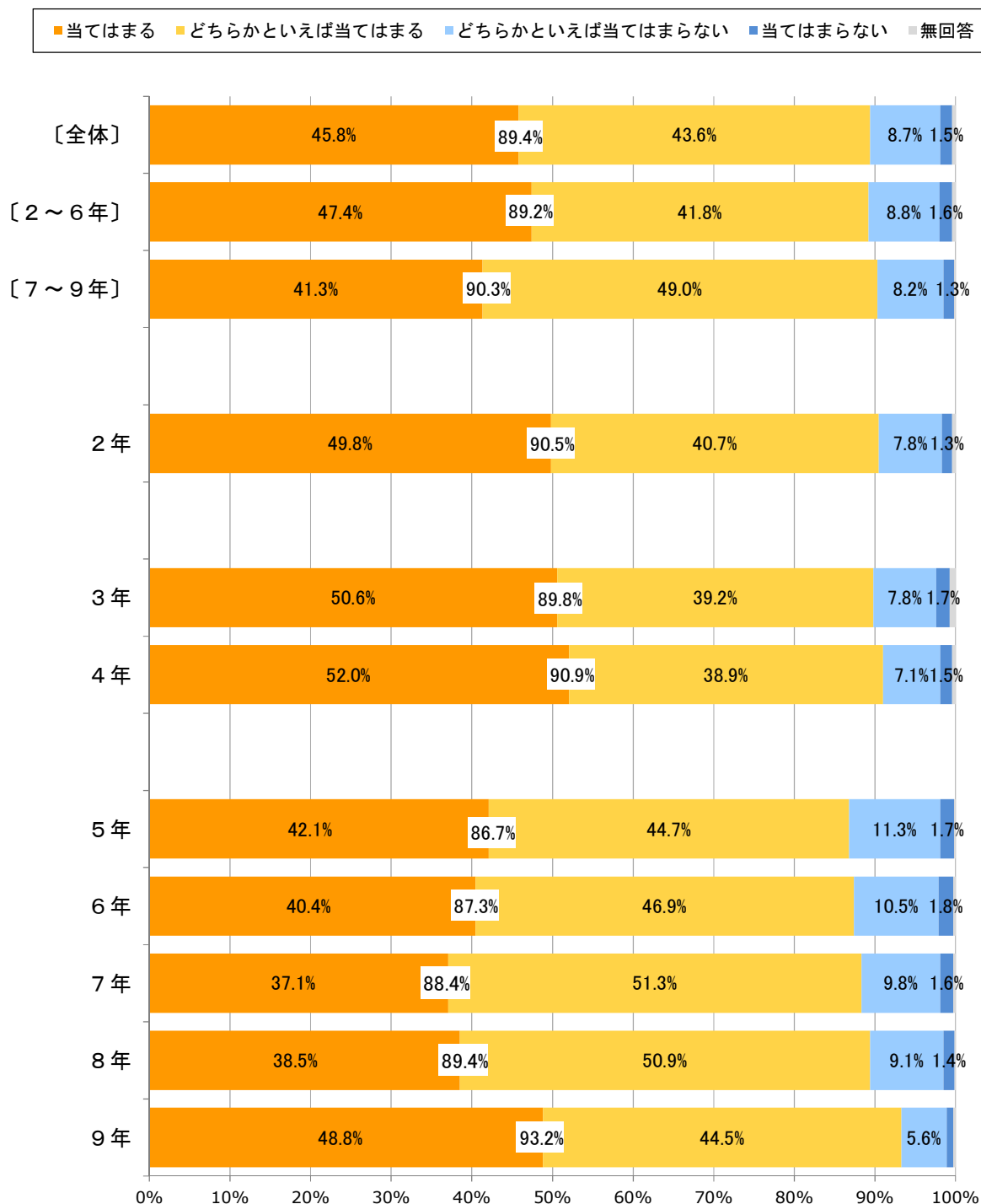
(3～4年) 友達の個性を認めて、仲良くすることができる。

(5～9年) 社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる。



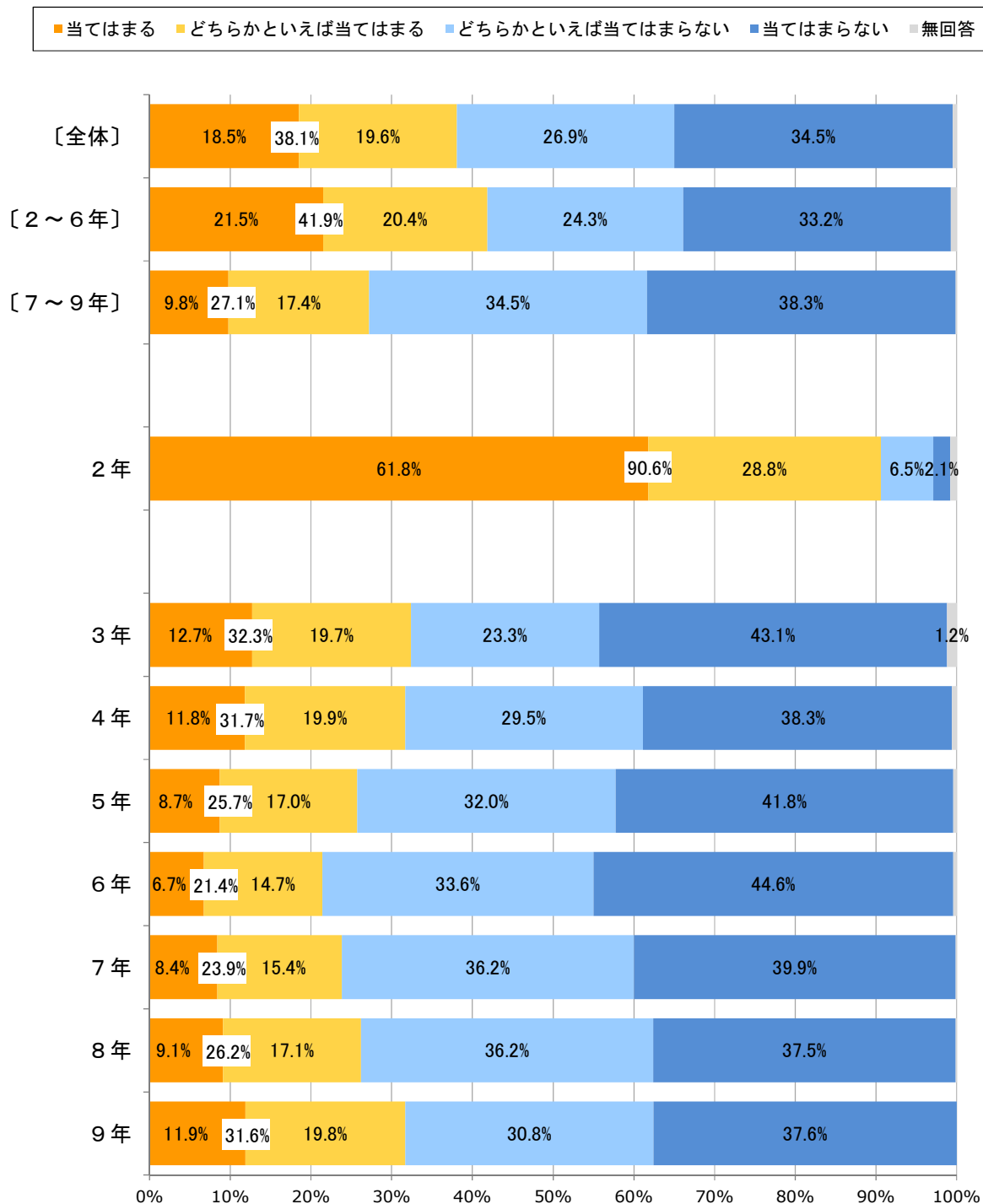
2年の「友達と仲良くすることができる」と3～4年の「友達の個性を認めて、仲良くすることができる」に『肯定的な回答』はいずれも90%台半ばを占めた。5～9年の「社会の様々な人々の個性を尊重し、認め合いながら関わることができる」は5年が85.9%、9年が95.7%と学年が上がるほど高くなっている。

- [4] (2年) 人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる。
 (3～4年) 自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる。
 (5～9年) 自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる。



2年の「人の目を見て話をしたり、聞いたりすることができる」と3～4年の「自分の考えを友達に伝えたり、友達の考えをしっかりと聞いたりすることができる」に『肯定的な回答』はいずれも約90%を占めた。5～9年の「自分の考えを適切に相手に伝えたり、友達の考えを理解したりしながら、人間関係を築くことができる」に『肯定的な回答』は5～8年が80%台後半、9年が90%を超えて最も高くなっている。

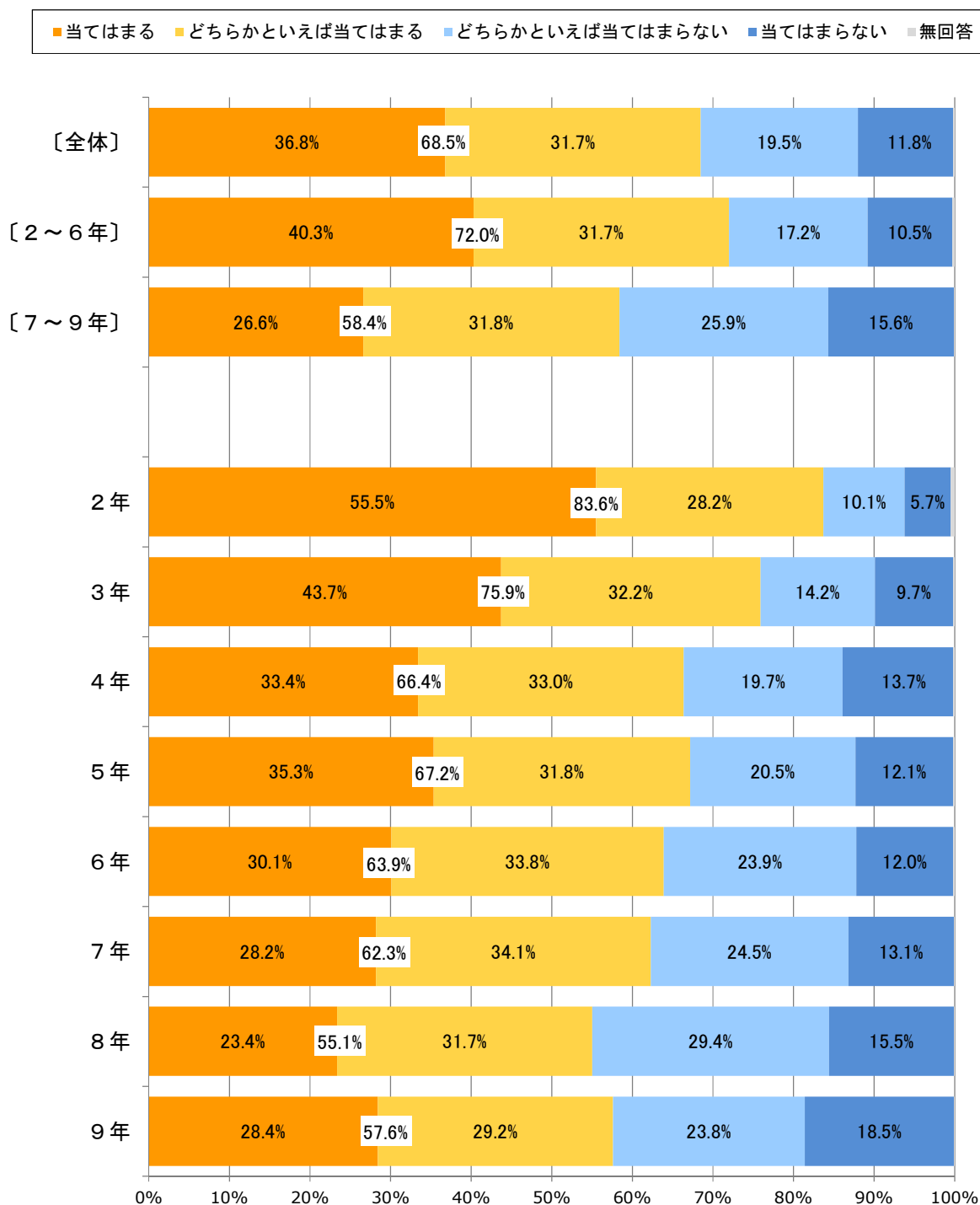
[5] (2年) みんなのために働くのは楽しいと思う。
 (3～9年) ボランティア活動などに参加している。



2年では「みんなのために働くのは楽しいと思う」に『肯定的な回答』は約90%を占める。一方で、3～9年では「ボランティア活動などに参加している」に『肯定的な回答』は20%台～30%台に留まった。

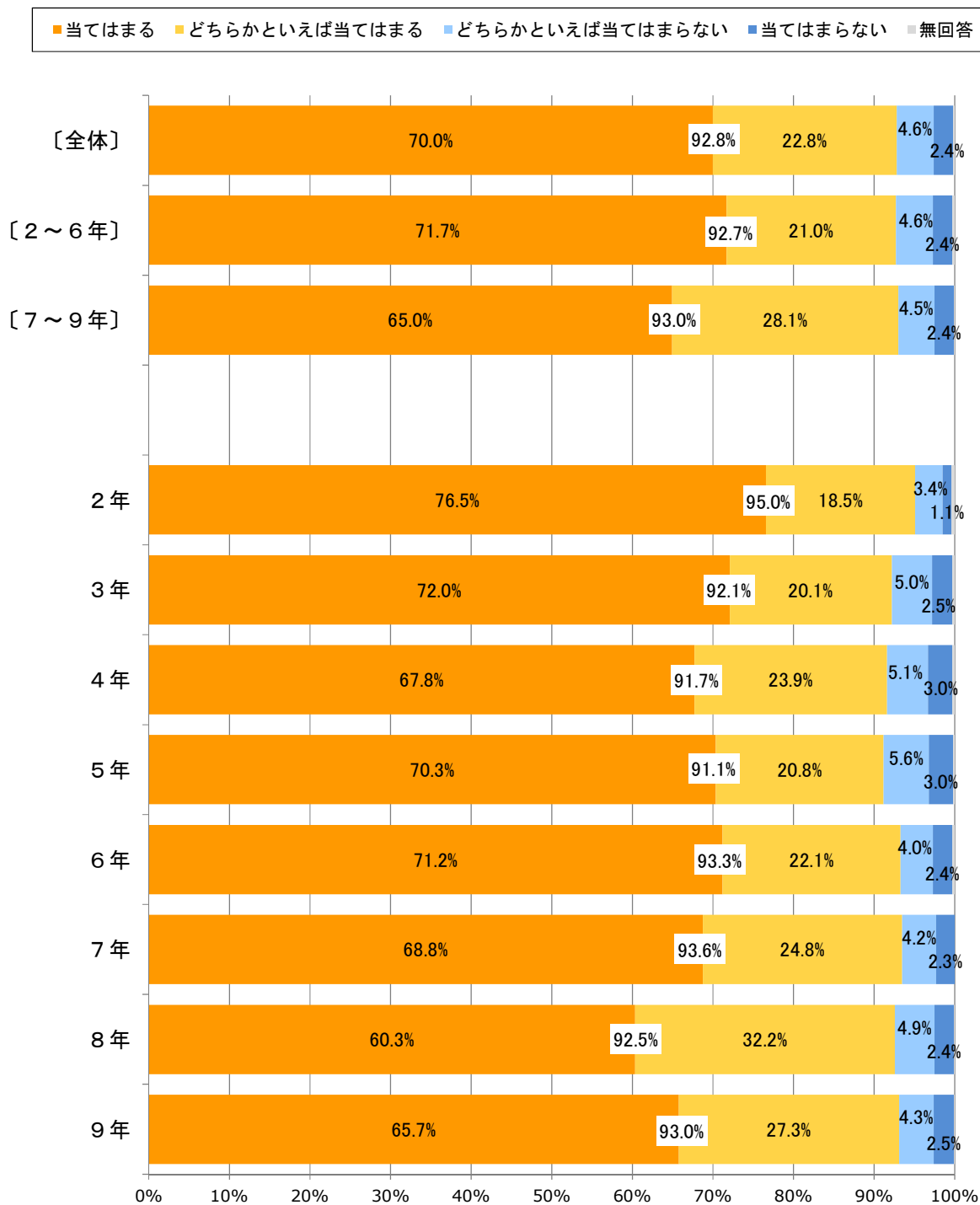
[B. 英語の学習について]

[6] 英語の学習は好きである。



「英語の学習は好きである」に『肯定的な回答』は、全体では68.5%であり、2～6年は72.0%、7～9年は58.4%である。「当てはまる」の割合は、2年では55.5%と最も高く、8年で23.4%と最も低い。

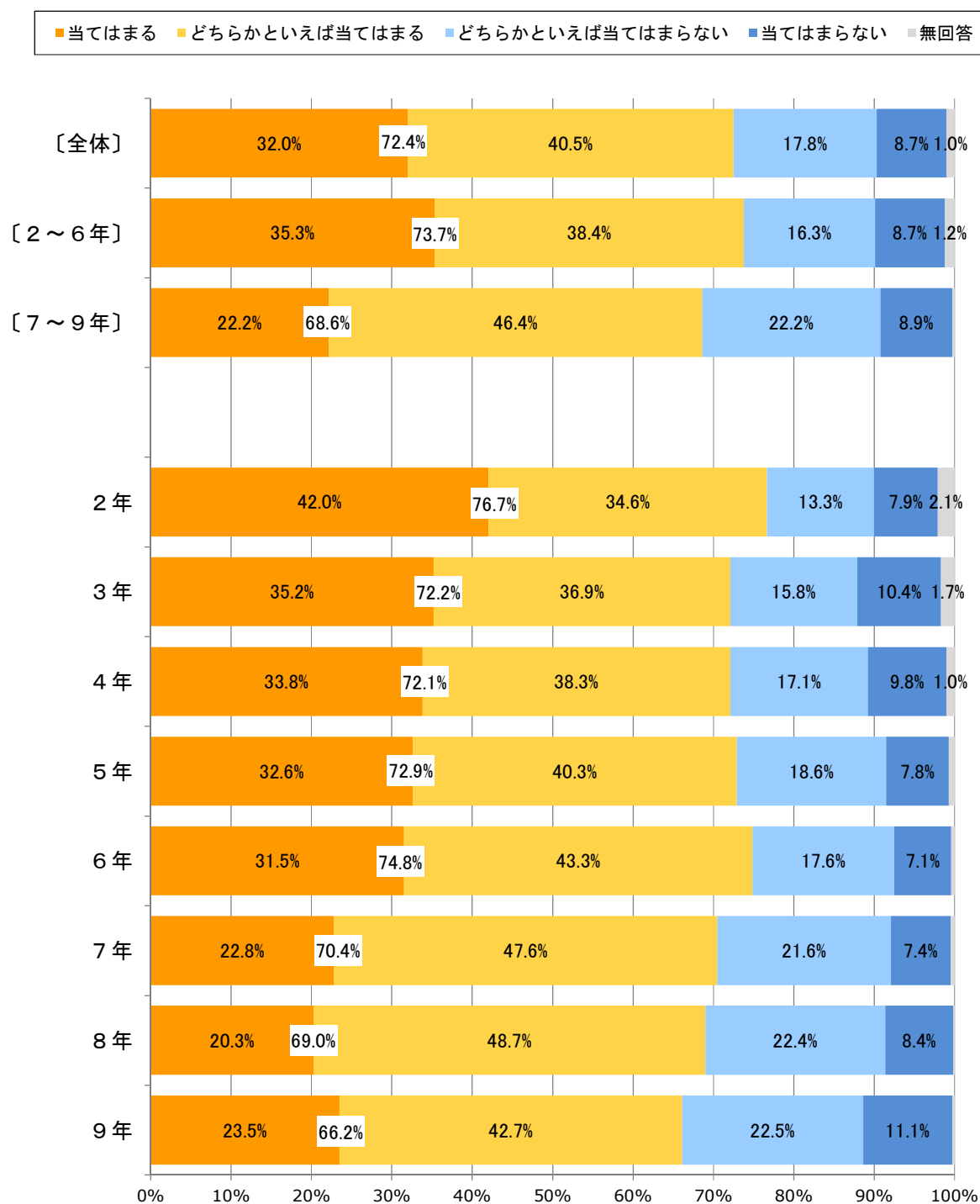
[7] 英語の学習は大切だと思う。



「英語の学習は大切だと思う」に『肯定的な回答』は全体では90%を超え、学年別でも全学年で90%以上である。「当てはまる」の割合は2年で76.5%と最も高い。

[C. 地域での様子について]

[8] 授業や学校の行事に地域の人たちが参加している。

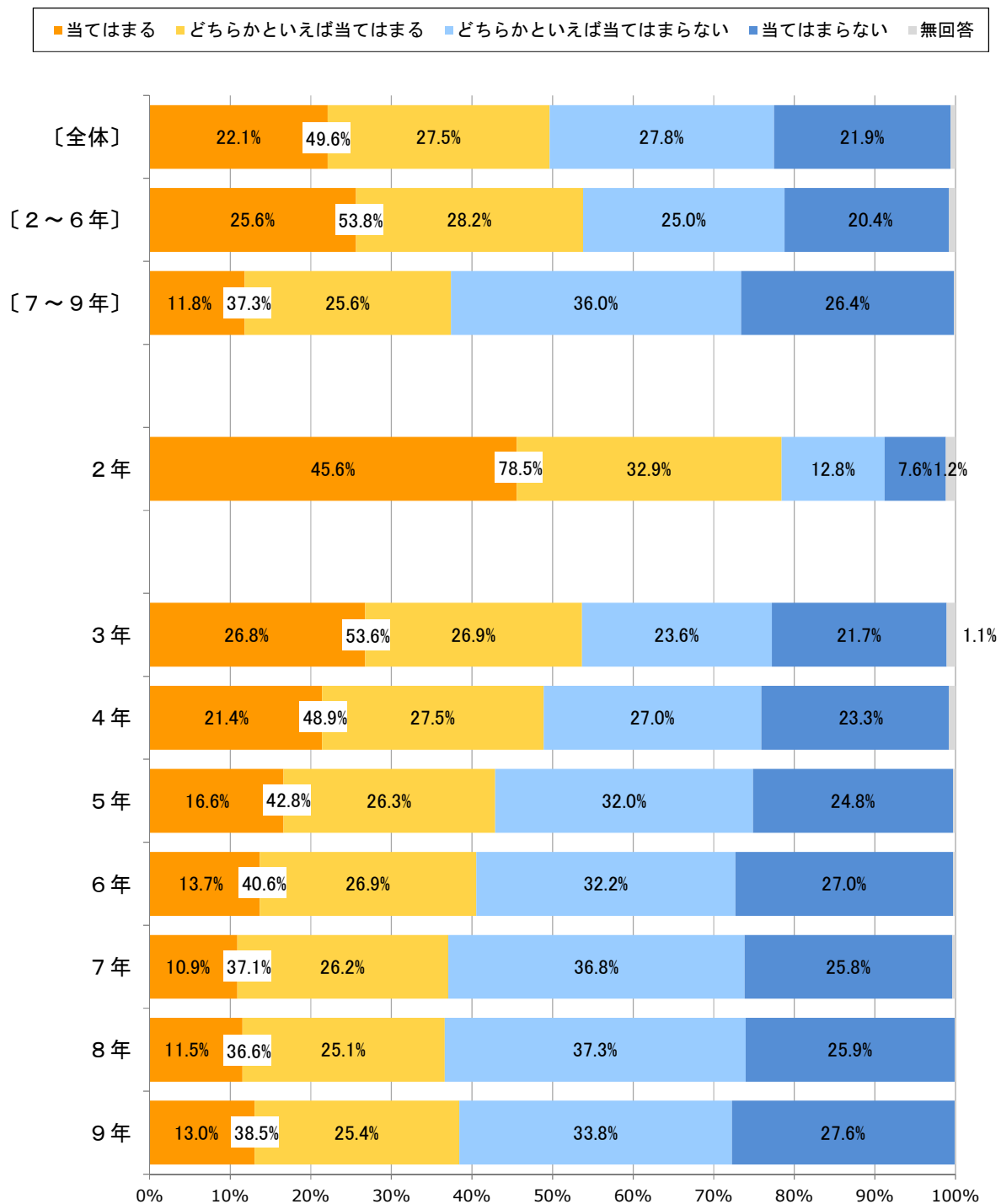


[授業や学校の行事に地域の人たちが参加している]に『肯定的な回答』は全体で72.4%を占める。2～6年は73.7%、7～9年は68.6%である。

「当てはまる」の割合は2年で42.0%と最も高く、7～9年では20%台に留まっている。

[9] (2年) 地域のお祭りや、行事、イベントに参加している。

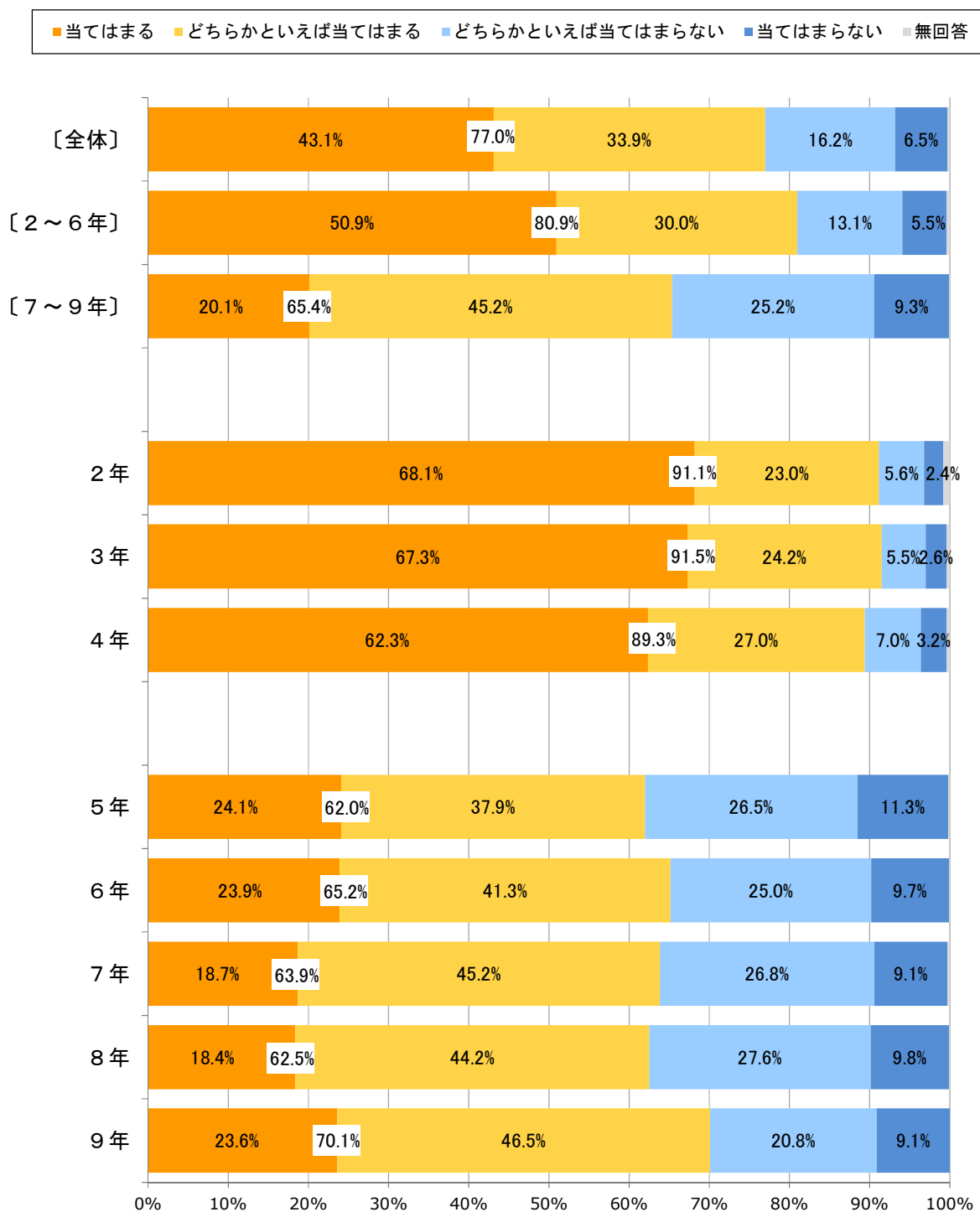
(3～9年) 地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している。



2年では「地域のお祭りや、行事、イベントに参加している」に『肯定的な回答』は80%弱である。一方で、3～9年の「地域の行事や伝統文化を体験したり知ったりする活動に参加している」に『肯定的な回答』は3年が53.6%で最も高く4～9年では30%台～40%台に留まった。

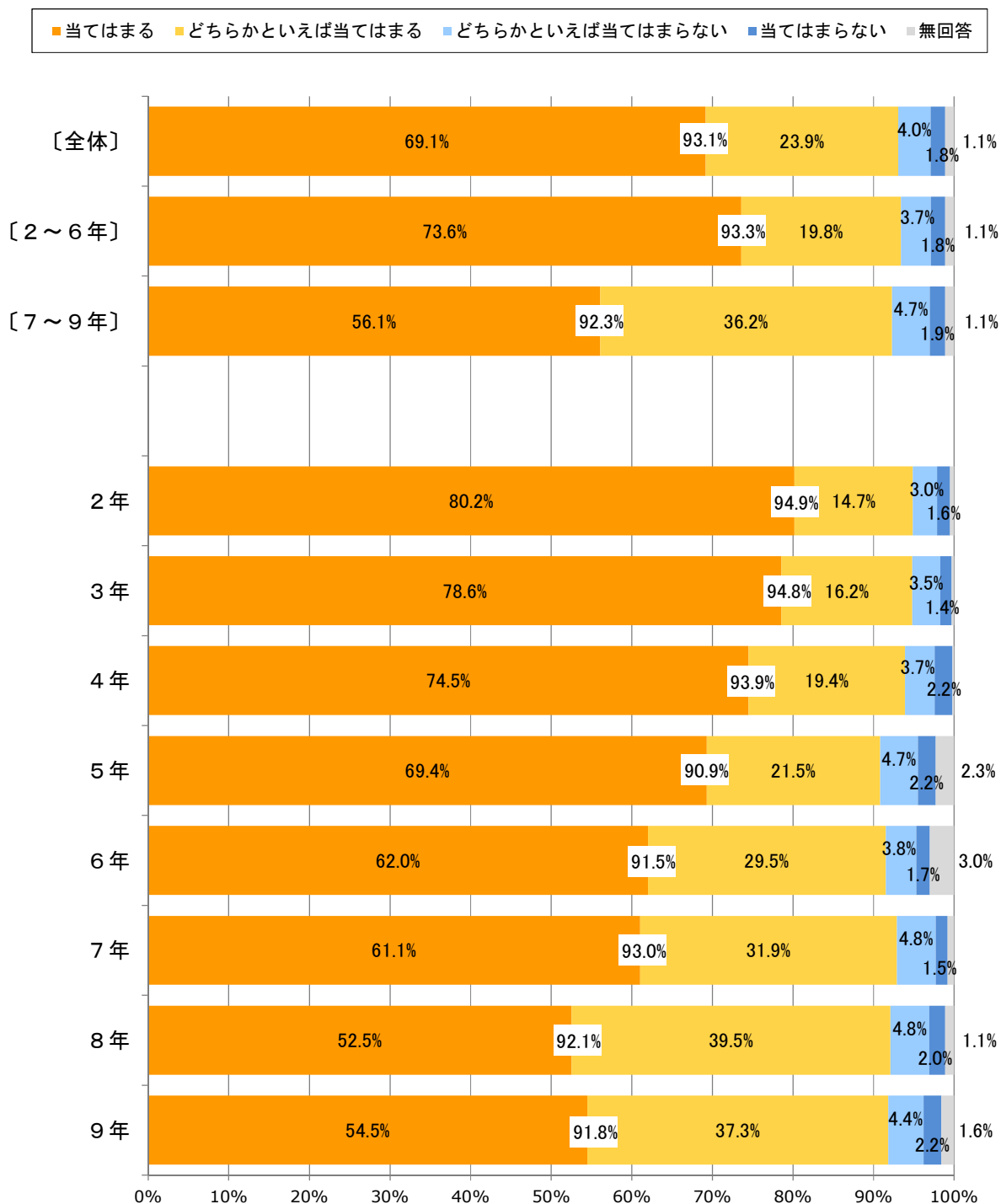
[10] (2~4年) 季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う。

(5~9年) 学校や地域、我が国の諸外国の伝統文化について、理解を深めようとする事ができる。



2~4年では「季節の行事や学校の行事に参加することは楽しいと思う」に『肯定的な回答』は約90%を占める。一方で、5~9年では「学校や地域、我が国の諸外国の伝統文化について、理解を深めようとする事ができる」に『肯定的な回答』は60%台~70%に留まった。

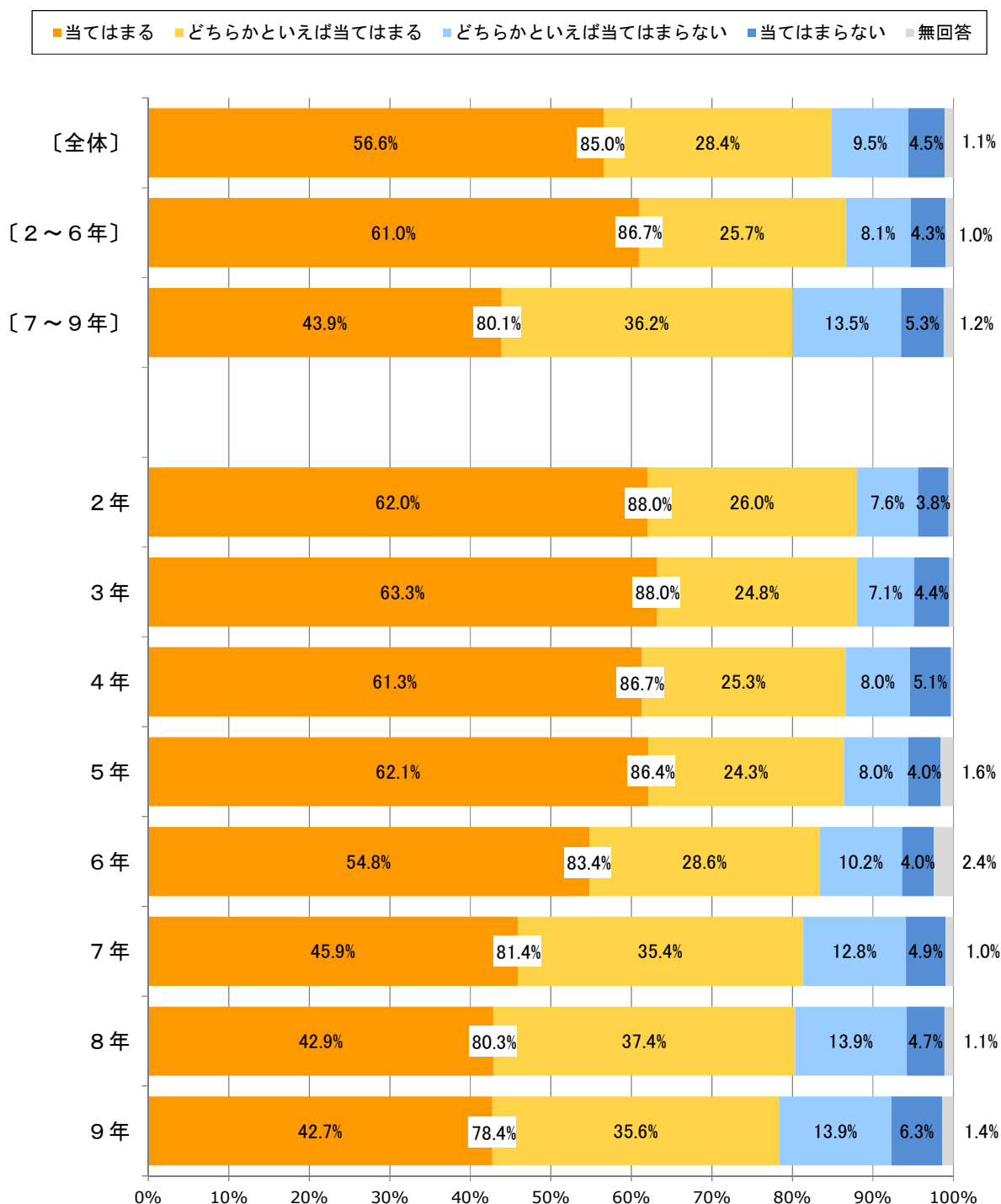
[11] 今住んでいる地域が好きだ。



「今住んでいる地域が好きだ」に『肯定的な回答』は全体で90%を超え、学年別に見ても、全ての学年で90%以上である。「当てはまる」の割合は2年で80.2%と最も高いが、8～9年は50%台に留まっている。

[D. コンピュータやタブレットなどの活用について]

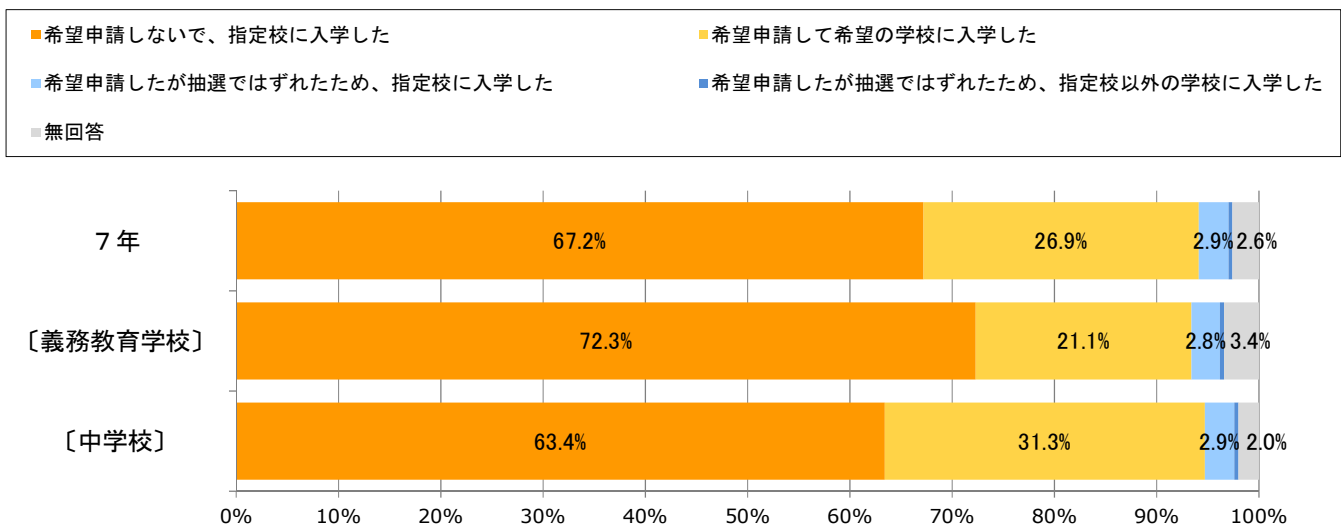
[12] 授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか。



〔授業でもっとコンピュータやタブレットなどのICT機器を活用したいと思いますか〕への『肯定的な回答』は、全体で85%を占める。2～6年で86.7%、7～9年で80.1%である。「当てはまる」の割合は2～6年の61.0%に比べ、7年～9年は43.9%と低い。

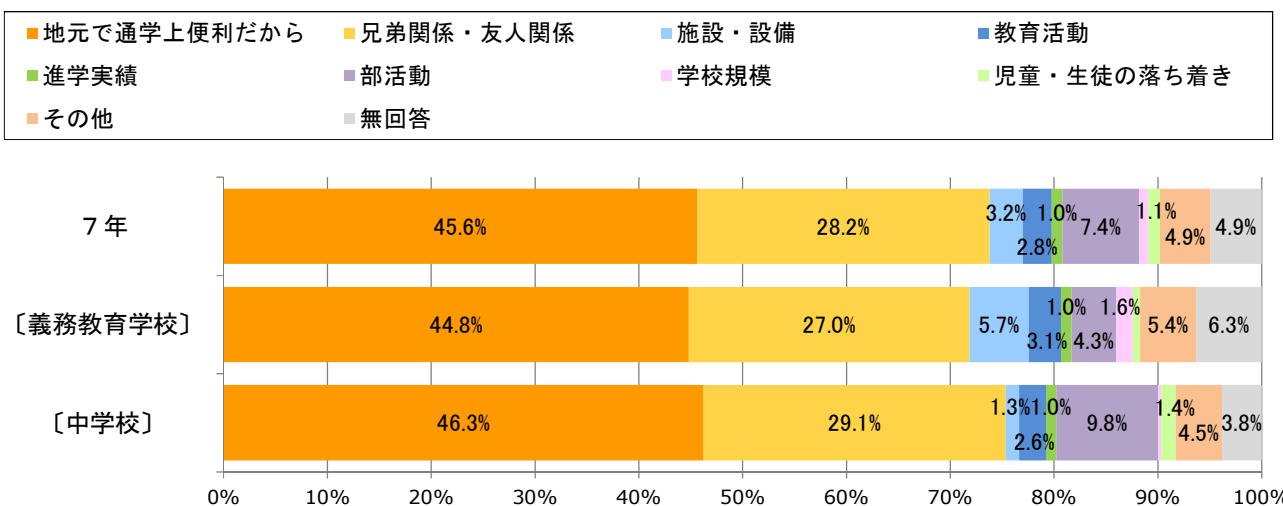
[E. 学校選択制について]

[13] 学校を選択する際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。
(7年のみ)



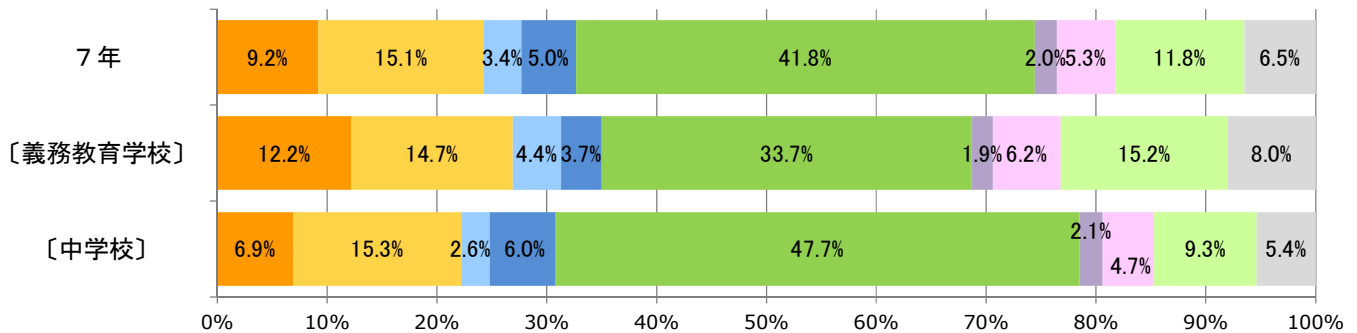
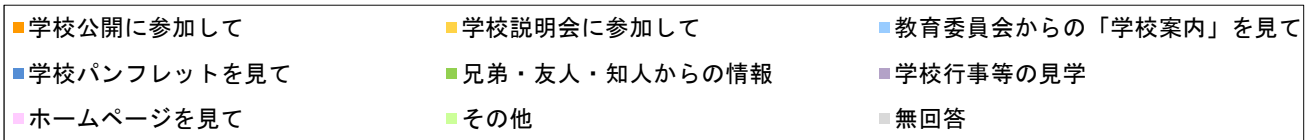
全体では「希望申請しないで指定校に入学した」が67.2%と最も高く、次いで「希望申請して希望の学校に入学した」26.9%、「希望申請したが抽選ではずれたため、指定校に入学した」2.9%と続いている。〔義務教育学校〕は〔中学校〕よりも、「希望申請して希望の学校に入学した」で10.2ポイント低く、「希望申請しないで、指定校に入学した」で8.9ポイント高い。

[14] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視したことを1つだけ選んでください。
(7年のみ)



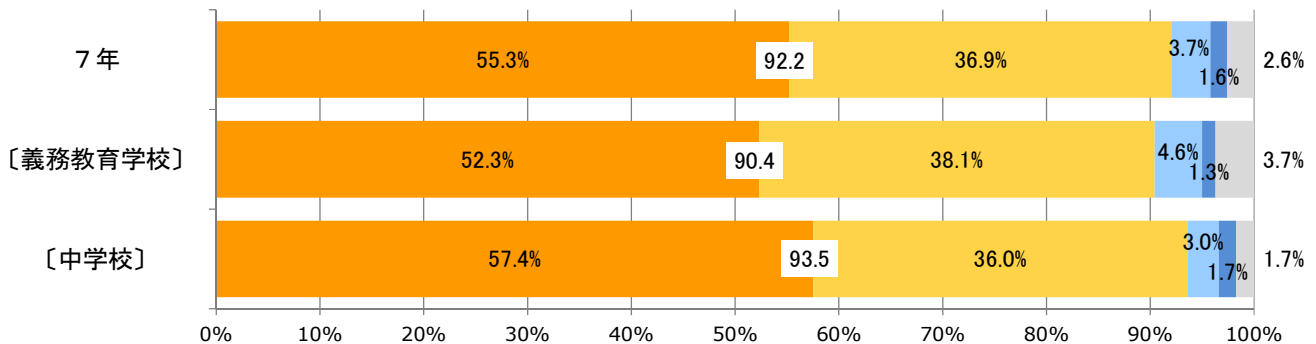
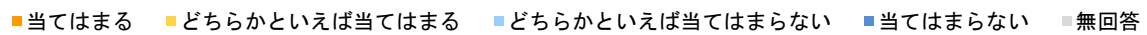
学校を選択する際に最も重視したことは、「地元で通学上便利だから」が45.6%と最も高く、次いで「兄弟関係・友人関係」28.2%、「部活動」7.4%と続く。〔義務教育学校〕は〔中学校〕よりも「部活動」で5.5ポイント低く、「施設・設備」で4.4ポイント高い。「その他」の内容としては、「特になし」が最も多く、次いで「小中一貫なのでそのまま進学した」、「家から近い」などが見られた。

[15] 学校(指定校または指定校以外)を選択する際、最も重視した情報を1つだけ選んでください。
(7年のみ)



学校を選択する際に最も重視した情報は、「兄弟・友人・知人からの情報」が41.8%と最も高く、次いで「学校説明会に参加して」15.1%、「学校公開に参加して」9.2%と続いている。〔義務教育学校〕は〔中学校〕よりも「兄弟・友人・知人からの情報」で14.0ポイント低く、「学校公開に参加して」で5.3ポイント高い。「その他」の内容としては、「特になし」が最も多く、次いで「家が近い」、「小中一貫なのでそのまま進学した」などが見られた。

[16] 学校選択制は良い制度だと思う。(7年のみ)



〔学校選択制は良い制度だと思う〕に『肯定的な回答』は全体で90%を超えている。〔中学校〕は〔義務教育学校〕より「当てはまる」が5.1ポイント高い。